

令和6年度 シラバス



茨城県立多賀高等学校

令和6年度 シラバス作成担当者一覧

【国語科】

- 1 学年現代の国語（共通）・・・奥山
- 1 学年言語文化（共通）・・・上遠野
- 2 学年論理国語（共通）・・・大内
- 2 学年文学国語（共通）・・・須賀田
- 2 学年古典探究（共通）・・・石川
- 3 学年論理国語（共通）・・・下山田
- 3 学年文学国語（共通）・・・下山田
- 3 学年古典探究（文・理）・・・丹下
- 3 学年古典探究（文特）・・・丹下
- 3 学年国語探究（文）・・・上遠野

【地歴公民科】

- 1 学年地理総合（共通）・・・豊田
- 1 学年歴史総合（共通）・・・坂本壽
- 2 学年日本史探究（文・文特）・・・秦
- 2 学年公共（文・文特）・・・上岡
- 3 学年日本史探究（文）・・・井上
- 3 学年日本史探究（文特）・・・井上
- 3 学年政治・経済（文・文特）・・・門井
- 3 学年公共探究（文）・・・上岡

【数学科】

- 1 学年数学Ⅰ（共通）・・・住谷
- 1 学年数学A（共通）・・・椎名
- 2 学年数学Ⅱ（文）・・・富山
- 2 学年数学Ⅱ（理）・・・柳橋
- 2 学年数学B（文特・理）・・・柳橋
- 3 学年数学Ⅱ（文）・・・岡
- 3 学年数学Ⅲ（理）・・・岡
- 3 学年数C（文特・理）・・・石川浩
- 3 学年数学探究（理）・・・富山

【理科】

- 1 学年化学基礎（共通）・・・宍戸
- 2 学年生物基礎（共通）・・・宍戸
- 2 学年物理基礎（理）・・・坂本神
- 2 学年化学（理）・・・宍戸
- 3 学年地学基礎（文・文特）・・・宍戸
- 3 学年物理（理）・・・坂本神
- 3 学年生物（理）・・・須藤
- 3 学年化学（理）・・・泉
- 3 学年生物基礎探究（文・文特）・・・宍戸
- 3 学年化学基礎探究（文）・・・泉

【外国語科】

- 1 学年英語コミュニケーションⅠ（共通）・・・庄司
- 1 学年論理・表現Ⅰ（共通）・・・綿引
- 2 学年英語コミュニケーションⅡ（文・理）・・・坪
- 2 学年論理・表現Ⅱ（共通）・・・長谷川
- 3 学年英語コミュニケーションⅢ（文・理）・・・佐藤
- 3 学年英語表現Ⅱ（共通）・・・会沢
- 3 学年論理・表現Ⅲ（文特・理）・・・小澤
- 3 学年英語探究（文・文特）・・・小澤

【保健体育科】

- 1 学年体育（共通）・・・富田
- 1 学年保健（共通）・・・富田
- 2 学年体育（共通）・・・富田
- 2 学年保健（共通）・・・富田
- 3 学年体育（共通）・・・富田

【芸術科】

- 1 学年美術Ⅰ（共通）・・・太田
- 1 学年書道Ⅰ（共通）・・・小貫
- 2 学年美術Ⅱ（文）・・・太田
- 2 学年書道Ⅱ（文）・・・小貫
- 3 学年美術探究（文）・・・太田
- 3 学年書道探究（文）・・・小貫

【家庭科】

- 1 学年家庭基礎（共通）・・・鴨志田
- 3 学年家庭探究（文）・・・鴨志田

【情報科】

- 2 学年情報Ⅰ（共通）・・・秋山

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書		新現代の国語（三省堂）							
使用副教材		学習課題ノート・実践文字カトリプルチェック・グランステップ現代文							
科目の目標 （学習指導要領）		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
評価の観点		知識・技能 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。（（１）ア） 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使うこと。（（１）イ） 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。（（１）ウ） 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。（（１）エ）	思考力・判断力・表現力 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫すること。（Ａ（１）ア） 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。（Ｂ（１）ア） 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。（Ｃ（１）ア）	主体的に学習に取り組む態度 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。					
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度					
		学習の達成状況を １００点法で評価	学習評価結果の ＡＢＣの数で評価	学習評価結果の ＡＢＣの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査		○							
小テスト		○							
実技テスト パフォーマンステスト		○							
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○	○					
レポートの提出内容			○	○					
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード				○					
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	届く言葉、届かない言葉 わかりあえないことから (4h)	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。(1)ア 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(1)ウ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C1)ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
5月	わかりあえないことから 聞く力 (6h)	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。(1)ア 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(1)ウ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(3)ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C2)ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
6月	情報はつくられる ひとまず、信じない 情報を編集し、的確に発表する (6h)	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使うこと。(2)イ	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫すること。(A2)ア	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
7月	情報を編集し、的確に発表する 人が死なない防災 減災学をつくる 評価した情報をまとめる (7h)	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)エ	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B1)ア	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
8月				
9月	評価した情報をまとめる 読むことのレッスン 水の東西 コインは円形か(8h)	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使うこと。(1)ウ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)エ	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることともに、自分の考えを深めること。(C1)イ	文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
10月	中身あてクイズ 海カメの無念 構成や展開を意識して発表する (6h)	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。(1)イ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)エ	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。(A1)エ	文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
11月	構成や展開を意識して発表する 折々のことば 宝探してみたいに本の世界に入っていきます(6h)	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(1)ウ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。(1)オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。(2)オ	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。(B1)イ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。(B1)ウ	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
12月	情報を整理して推薦する 檻の中の“街” 小さな哲学者(7h)	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。(1)カ 推論の仕方を理解し使うこと。(2)ウ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。(2)オ	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。(1)オ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。(1)カ 推論の仕方を理解し使うこと。(2)ウ	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
1月	小さな哲学者 多様な意見に触れる ありのままの世界は見えない (6h)	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。(1)オ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。(1)カ 推論の仕方を理解し使うこと。(2)ウ	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B1)ア 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。(B1)エ	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
2月	ものとことば 情報を活用して説得的に書く (6h)	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。(1)オ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。(1)カ 推論の仕方を理解し使うこと。(2)ウ	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B1)ア 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。(B1)エ	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
3月	情報を活用して説得的に書く 書いた文章を批評し合う (4h)	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。(1)オ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。(1)カ 推論の仕方を理解し使うこと。(3)ウ	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B1)ア 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。(B2)エ	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	新言語文化（三省堂）								
使用副教材	学習課題ノート・古文単語315・グランステップ古典1・基礎から学ぶ解析古典文法・必携新明説漢文								
科目の目標 (学習指導要領)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。((1) ア) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。((2) ウ) 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。((2) エ)		作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B (1) エ) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。(B (1) オ)		我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を 100点法で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○		○				
レポートの提出内容			○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	1. 入門 「千年の時が与えてくれる安堵」(4h)	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。(1)ア	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。(B(1)イ)	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。(2)カ
5月	2. 読書は生きる力 「枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの」 「故事二編 虎の威を借る「ゴール」」(7h)	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。(1)エ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。(2)カ	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。(B(1)ア)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めようとしている。
6月	3. 物語は無限に展開する「沙石集 兎の飴食ひたること」「説苑 景公之馬」「羅生門」(6h)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。(2)ア	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。(A(1)ア)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしたり、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
7月	夏を切り抜く 「短歌・俳句に表す」(7h)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。(3)ア	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。(A(1)ア)	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行っている。
8月				
9月	4. 人の心は万華鏡 「オムライス」「十八史略 鶏口牛後／先從隗始」「平家物語 木曾の最期」(8h)	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。(1)エ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。(2)オ	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。(B(1)イ) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(B(1)ウ)	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
10月	秋を切り抜く 「詩に表す」(6h)	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。(1)ア) 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。(2)エ	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(B(1)ウ)	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解したり、作品創作に粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
11月	5. 共感海を越える 「漢詩四編」「待ち伏せ」「インタビュー『人間』を描きたい」(6h)	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。(2)ア	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B(1)エ)	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている
12月	6. 文学は主張する 「徒然草 神無月のころ／家居のつきづきしく」「なめとこ山の熊」「論語八章」(7h)	我が国の言語文化の背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。(1)エ) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文脈のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。(2)ウ) 時間の経過や地域・文化の特性などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。(2)エ	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(B(1)ウ)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。
1月	冬を切り抜く 「随筆に表す」(6h)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ)	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。(A(1)イ)	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する
2月	7. 言葉を紡ぎ出す 「サーカス」「神様」「夢十夜」(6h)	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。(2)カ)	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(B(1)ウ) 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B(1)エ) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。(B(1)オ)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。
3月	「土佐日記 門出」「雑説」(4h)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ウ)	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(B(1)ウ) 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B(1)エ) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。(B(2)オ)	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとしている。

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	新 論理国語（三省堂）								
使用副教材	学習課題ノート リアルマスター3300 キーワードの卵								
科目の目標 (学習指導要領)	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。(知識及び技能) (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	≪言葉の特徴や使い方≫ ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 ≪情報の扱い方≫ ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。		≪読む力≫ ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 ≪書く≫ ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。		業には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解したり、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCの数で評価		学習評価結果のABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	「言葉は平等な内面を作り出す」(2) 「若者に友達プレッシャー」(3)	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。	文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとする。
5月	「自分を捉え直す」(3) 「他者を理解する」(3)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握すること。	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。
6月	「情報を整理する」(2) 「一人で爆笑」(2) 「カタカナ語は享受すべきか」(3)	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。	
7月	「世界のあり方」(3) 「文章をリフォームする」(3) 「それぞれのしっくりくる言葉」(2)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、必要情報を関係付けて自分の考えを深め粘り強く自らの学習を調整しようとする。
8月				
9月	「多様な視点から考える」(3) 「女性/男性だから〇〇」(2) 「意見を書く」(3)	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 推論の仕方について理解を深め使うこと。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開について理解を深め、論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容の解釈に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとする。
10月	「落語の中の経済学」(2) 「ホンモノのおカネの作り方」(2) 「「展示」が伝えるもの」(3)	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 推論の仕方について理解を深め使うこと。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解し、粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとする。
11月	「レポートを書く」(3) 「情報の内容を吟味する」(3) 「なぜ私たちは労働するのか」(1)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。	語句を増し、文章の中で使うことで、語感を磨き語彙を豊かにし、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握することに向けた粘り強い取り組み、自らの学習を調整しようとする。
12月	「なぜ私たちは労働するのか」(2) 「「すべり台社会」と「溜め」」(3)	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。	情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深め、必要情報を関係付けて自分の考えを深め粘り強く自らの学習を調整しようとする。
1月	「投書を書く」(4) 「地球上の「旅人」」(3)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。	語句を増し、文章の中で使うことで、語感を磨き語彙を豊かにし、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握することに向けた粘り強い取り組み、自らの学習を調整しようとする。
2月	「誰かの靴を履いてみる」(3) 「スポーツとナショナリズム」(3)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	推論の仕方について理解を深め、必要情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたり粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとする。
3月	「レビューを書く」(4)	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。	語句を増し、文章の中で使うことで、語感を磨き語彙を豊かにし、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握することに向けた粘り強い取り組み、自らの学習を調整しようとする。

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2	学年	2	類型	共通・理系（選択者）
使用教科書	新 文学国語（三省堂）								
使用副教材	学習課題ノート・グランステップ現代文（尚文出版） 実践文字力 トリプルチェック（尚文出版）								
科目の目標 （学習指導要領）	言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCの数で評価		学習評価結果のABCの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○	○							
小テスト	○	○							
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○							
課題等の提出内容	○	○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード				○					
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	「二十億光年の孤独」・「虹の雌雄」(5)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
5月	「予感」・「雉始雌」(7) 表現プラザ1 みんなでつながり レー小説	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(2) 「読書」イ)	・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(A(1)エ)	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
6月	「山月記」(10)	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(B(1)カ)	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
7月	「少年というメカ」・「バースディ・ガール」(5)	・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。(1)エ)	・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。(B(1)イ)	・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使ったり、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
9月	「未知へ」「夕焼け」「炭炭翁」(5)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)	・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア)	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
10月	「こころ」(8)	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ)	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
11月	「永訣の朝」「たけくらべ」「正岡子規 もう一つの顔」(8)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア)	・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。(B(1)ウ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
12月	「古典和歌・近世俳句」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア)	・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。(A(1)ウ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
1月	「項羽と劉邦—『史記』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア)	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
2月	「花山天皇の退位—『大鏡』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア)	② 思考・判断・表現 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	
3月	発展探究「歴史から物語、そして歴史物語へ」	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア)	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	新編古典探究（東京書籍）								
使用副教材	学習課題ノート・読んで見て聞いて覚える古文単語 315・解析古典文法・新明説漢文シリーズ基本練習ノート・グラimesteps古典 1								
科目の目標 （学習指導要領）	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 （我が国の言語文化に関する事項） ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。		〈Ａ 読むこと（１）〉 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。		古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増したり、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察したりすることを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとするすること。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を 100点法で評価		学習評価結果の ABCの数で評価		学習評価結果の ABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	・古文「小野篁広才のこと」「大江山の歌」 (5)	古典における語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。読むこと(1)ア	進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、内容を正確に読み取ろうとすること。
5月	・漢文「蛇足」「断腸」「知音」「畏饅頭」 (5)	古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。(2)ア	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、内容を正確に読み取ろうとすること。
6月	・古文「丹波に出雲といふ所あり」 ・漢文、唐詩 (8)	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。(1)エ	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。読むこと(1)イ	進んでさまざまな唐詩を読み味わい、学習課題に沿って、言語感覚や想像力を豊かにしようとする。
7月	・古文「花は盛りに」 ・漢文「雑説」 (7)	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。(1)ウ	「読むこと」において書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。読むこと(1)ウ	修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り、学習課題に沿って、現代に通じる内容やテーマについて考察しようとする。
8月				
9月	・古文「ゆく河の流れ」 ・漢文「桃花源記」 (7)	先人の見方、感じ方、考え方に親しみ、自分の見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。(2)エ	「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。読むこと(1)オ	修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り、学習課題に沿って、現代に通じる内容やテーマについて考察しようとする。
10月	・古文「天の羽衣」 ・漢文「四面楚歌」 (7)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。(1)イ	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとすること。
11月	・古文「富士の山」 ・漢文「項王自刎」 (8)	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。(2)ウ	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。読むこと(1)イ	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとすること。
12月	・古文「小倉百人一首」 ・漢文「出藍誉」「侵官之害」 (6)	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。(1)エ	「読むこと」において古典への多面的・多角的な評価を通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。読むこと(1)ク	進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し、学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとする。
1月	・古文「馬のはなむけ」「帰京」 ・漢文「塞翁馬」「杞憂」 (5)	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。(2)ウ	「読むこと」において、古典に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。読むこと(1)カ	進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとする。
2月	・古文「物語」 ・漢文「水魚之交」 (7)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。(1)イ	「読むこと」において、関心のある事柄に関する古典作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。読むこと(1)キ	進んで本文の内容や展開を的確に捉え、学習課題に沿って心情を読み取り、生き方・あり方について考えようとする。
3月	・古文「壇の浦の合戦」 ・漢文「死諸葛走生仲達」 (5)	先人の見方、感じ方、考え方に親しみ、自分の見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。(2)エ	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで本文の内容や展開を的確に捉え、学習課題に沿って心情を読み取り、生き方・あり方について考えようとする。

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	学年	3	類型	共通
使用教科書	新 論理国語（三省堂）								
使用副教材	学習課題ノート キーワードの卵								
科目の目標 (学習指導要領)	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。(知識及び技能) (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等) (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	《言葉の特徴や使い方》 ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ウ 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 《情報の扱い方》 ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。		《読む力》 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。 《書く》 ア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。		業には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解したり、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めたりすることにに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCの数で評価		学習評価結果のABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	5 信頼性を吟味するために 「情報の内容を吟味する」 「なぜ私たちは労働するのか」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする
5月	「なぜ私たちは労働するのか」 「「すべり台社会」と”溜め”」 5 信頼性を吟味するために 「投書を書く」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする
6月	6 隠れた前提を探すために 「地球上の「旅人」」 「誰かの靴を履いてみること」	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。	推論の仕方について理解を深め、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする
7月	6 隠れた前提を探すために 「誰かの靴を履いてみること」 「スポーツとナショナリズム」	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。	推論の仕方について理解を深め、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする
8月				
9月	6 隠れた前提を探すために 「レビューを書く」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする
10月	7 具体と抽象の関係を理解するために 「人類による環境への影響」 「この十年をどう生きるか」 「プラスチックごみについて考える」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	作品とその原作との読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。
11月	7 具体と抽象の関係を理解するために 「プラスチックごみについて考える」 「説得力のある文章を書く」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	作品とその原作との読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。

1 2 月	8 批評するために 「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」 「言語ゲームと哲学的態度」 「日本マンガのブルーオーシャン戦略」	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。	作品とその原作との読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。
1 月	「報告文を書く」	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。	作品とその原作との読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。
2 月				
3 月				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	「永訣の朝」 「たけくらべ」	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
5月	「たけくらべ」 「正岡子規 もう一つの顔」	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
6月	「古典和歌・近世俳句」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。(A(1)ウ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
7月	「項羽と劉邦—『史記』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
9月	「花山天皇の退位—『大鏡』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	② 思考・判断・表現 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	
10月	発展探究「歴史から物語、そして歴史物語へ」	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	
11月	「月火水木金土日」 「源氏物語-北山の垣間見」 「想像への畏敬-大和路をゆく」	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(B(1)キ)	言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
12月	表現プラザ5 表現の宝さがし 「ことばの不思議」	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。(1)エ	文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア)	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使ったり、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
1月	9 作品の変貌 言語文化の可能性を追求する 「艶」 「竹取物語-かぐや姫の昇天」 「ピクニックの準備」 「映画『夜のピクニック』」	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ)	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(A(1)エ)	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	学年	3	類型	文系一般
使用教科書		新編古典探究（東京書籍）							
使用副教材		学習課題ノート・みるみる覚える古文単語3000+30・解析古典文法・新成古典							
科目の目標 (学習指導要領)		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度				
	〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (我が国の言語文化に関する事項) ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	〈A 読むこと(1)〉 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。			古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増したり、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察したりすることを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。				
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCの数で評価			学習評価結果のABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○							
課題等の提出内容		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				

その他 ※文書で記入可				
【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	・古文「天の羽衣」 (7)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 (1)イ	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとすること。
5月	・古文「馬のはなむけ」 ・漢文「四面楚歌」	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 (1)イ	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとすること。
6月	・古文「帰京」 ・漢文「塞翁馬」「杞憂」	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。(2)ウ	「読むこと」において、古典に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。読むこと(1)カ	進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとする。
7月	・古文「物語」 ・漢文「水魚之交」 (7)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 (1)イ	「読むこと」において、関心のある事柄に関する古典作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。読むこと(1)キ	進んで本文の内容や展開を的確に捉え、学習課題に沿って心情を読み取り、生き方・あり方について考えようとする。
8月				
9月	・古文「枕草子」	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。読むこと(1)ア	積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。
10月	・漢文「十八史略」	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(1)ア	積極的に文章のおもしろさを味わい、出典章段のその他の話を読み、今までの学習を生かして、さまざまな人間の考え方について考察しようとしている
11月	・古文「伊勢物語」 「大和物語」	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 (1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。(1)イ	積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている
12月	・古文「大和物語」 ・漢文 古体詩一五首	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ	「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 (1)エ	積極的にその他の漢詩や白居易の「長恨歌」について調べ、今までの学習を生かして、日本文学に大きな影響を与えた理由について考察しようとしている
1月	・古文「大鏡」	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(1)ウ	積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。
2月				
3月				

教科	国語	科目	古典探究	単位数	3	学年	3	類型	文系特進
使用教科書		新編古典探究（東京書籍）							
使用副教材		学習課題ノート・みるみる覚える古文単語3000+30・解析古典文法・新成古典							
科目の目標 (学習指導要領)		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
		〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (我が国の言語文化に関する事項) ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	〈A 読むこと(1)〉 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。			古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増したり、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察したりすることを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。			
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
		学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCの数で評価			学習評価結果のABCの数で評価			
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
定期考査		○							
小テスト		○							
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子						○			
自己評価・相互評価						○			
振り返りカード						○			
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	・古文「馬のはなむけ」 ・漢文「四面楚歌」(12)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。(1)イ	「読むこと」において、成立背景や他作品との関係を踏まえて古典を読み、内容の解釈を深め作品の価値について考察すること。読むこと(1)エ	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとすること。
5月	・古文「帰京」 ・漢文「塞翁馬」「杞憂」(10)	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。(2)ウ	「読むこと」において、古典に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。読むこと(1)カ	進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとする。
6月	・古文「物語」 ・漢文「水魚之交」(12)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。(1)イ	「読むこと」において、関心のある事柄に関する古典作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。読むこと(1)キ	進んで本文の内容や展開を的確に捉え、学習課題に沿って心情を読み取り、生き方・あり方について考えようとする。
7月	・古文「枕草子」(12)	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。読むこと(1)ア	積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。
8月				
9月	・漢文「十八史略」(12)	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(1)ア	積極的に文章のおもしろさを味わい、出典章段のその他の話を読み、今までの学習を生かして、さまざまな人間の考え方について考察しようとしている。
10月	・古文「伊勢物語」「大和物語」(12)	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(1)イ	積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。
11月	・古文「大和物語」 ・漢文 古体詩一首(12)	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ	「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。(1)エ	積極的にその他の漢詩や白居易の「長恨歌」について調べ、今までの学習を生かして、日本文学に大きな影響を与えた理由について考察しようとしている。
12月	・古文「大鏡」(12)	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(1)ウ	積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。
1月	・古文「源氏物語」(11)	古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(1)ウ	積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。
2月				
3月				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	「永訣の朝」 「たけくらべ」	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
5月	「たけくらべ」 「正岡子規 もう一つの顔」	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
6月	「古典和歌・近世俳句」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。(A(1)ウ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫したりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
7月	「項羽と劉邦—『史記』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
9月	「花山天皇の退位—『大鏡』を読む」(6)	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	② 思考・判断・表現 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	
10月	発展探究「歴史から物語、そして歴史物語へ」	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(2)ア	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ)	
11月	「月火水木金土日」 「源氏物語-北山の垣間見」 「想像への畏敬-大和路をゆく」	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア	設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。(B(1)キ)	言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
12月	表現プラザ5 表現の宝さがし 「ことばの不思議」	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。(1)エ	文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア)	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使ったり、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
1月	9 作品の変貌 言語文化の可能性を追求する 「艶」 「竹取物語-かぐや姫の昇天」 「ピクニックの準備」 「映画『夜のピクニック』」	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(A(1)エ)	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	地理総合（二宮書店）								
使用副教材	基本地図帳（二宮書店）白地図ワーク（二宮書店）								
科目の目標 （学習指導要領）	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） 社会的事象を、位置や空間的な広がり、歴史的な視点をもとに、人間の営みと関連づけて理解する。		○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） 社会的な見方・考え方をもとに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等） 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を 100点法で評価		学習評価結果の ABCを数値に 置き換えて評価		学習評価結果の ABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 地図とGISの活用 1. 地球上の世界 2. 世界からみた日本の位置と領域 3. 国内や国家間の結びつき 4. 暮らしの中の地図とGIS	① 知識・技能 ・地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解する。 ・世界地図の主な図法と利用を理解する。 ・国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題の歴史的背景と空間的広がりを捉える。 ・人・モノ・情報の結びつきを捉える。 ・統計資料から分布や変化を捉える。 ・世界地図を図法を用途に応じて活用する。	② 思考・判断・表現 ・球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを説明する。 ・日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察する。 ・複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明する。 ・地図で示す主題によって統計地図の表現方法の差異を考察する。 ・身近な地図の表現方法に違いを捉える。 ・紙の地形図と電子地図の活用法を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組む。 ・日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題を考える。 ・統計地図の作成に意欲的に取り組む。 ・身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用する。 ・GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析する。
5月	第2章 地理的環境の特色 1. 地形と生活文化 2. 気候と生活文化	① 知識・技能 ・地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉える。 ・地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉える。 ・大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解する。 ・各気候の分布の特徴を理解する。	② 思考・判断・表現 ・世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察する。 ・生活している地域の地形の特徴を、写真、地形図から捉え、人間生活との関連を考察する。 ・世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察する。 気候区分図を用いて気候分布の規則性を捉える。 ・写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なること、農業や生活の影響を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組む。 ・地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉える。地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組む。 ・地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉える。 ・雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応を意欲的に探究する。
6月	第2章 地理的環境の特色 3. 産業と生活文化	① 知識・技能 ・世界の視野から産業の特徴と分布を捉える。 ・主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉える。 ・雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理する。	② 思考・判断・表現 ・自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察する。 ・世界の産業の変化をグローバル化の観点から考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究する。
7月	第2章 地理的環境の特色 4. 宗教・言語と生活文化	① 知識・技能 ・世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解する。 ・主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉える。	② 思考・判断・表現 ・生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察する。 ・世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究する。 ・難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究する。
8月				
9月	第3章 1. 経済発展と生活文化の変化～東アジア～ 2. 宗教の多様性と生活～ASEAN諸国～ 3. 水の恵みと生活文化～南アジア～	① 知識・技能 ・図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理する。	② 思考・判断・表現 ・中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境の影響を主題図などの資料をもとに考察する。 ・ASEAN諸国の統合生活文化の変化を考察する。 ・地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いを考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題を探究する。 ・多様な言語・宗教からなるASEANにおける経済成長と経済格差を意欲的に探究する。 ・イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ、圏内の共通点や相違点を探究する。
10月	第3章 4. 多様な気候と生活文化～アフリカ～ 5. 経済統合による生活文化の変化～EU～ 6. 寒冷な気候と生活文化～ロシア～	① 知識・技能 ・図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応と地域の変化を捉える。 ・生活文化を地形や気候と関連づけ、農業と食文化の関連について理解する。	② 思考・判断・表現 ・地形、気候、歴史的背景と生活文化の多様性を考察する。 ・経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ、アフリカの課題について捉え、課題やその対策を説明する。地形、気候、歴史的背景と生活文化の多様性を考察する。 ・寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもち意欲的に取り組む。 ・言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合と課題を意欲的に探究する。
11月	第3章 7. グローバル化による生活文化の変化～アメリカ・カナダ～ 8. 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ～ 9. 植民と移民による生活文化の形成～オセアニア～	① 知識・技能 ・図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を捉える。	② 思考・判断・表現 ・図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察する。 ・資源を背景とした経済発展と経済格差の問題点を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究する。
12月	第4章 地球的課題と国際協力 1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギー問題 3. 人口・食料問題 4. 居住・都市問題	① 知識・技能 ・SDGsの理念と目標を理解し、多面的、多角的に考察し、課題と必要な解決策を構想する。	② 思考・判断・表現 ・SDGsの目標をふまえ、対策が他の課題におよぼす影響について考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・国際協力に関心を持ち、当該国の人の立場で意欲的に対策と影響を考えることができる。
1月	第5章 生活圏の諸課題 1. 日本の自然環境と防災	① 知識・技能 ・インターネット上の電子地図などを活用し、防災対策を検討する技能を身につける。	② 思考・判断・表現 ・防災に必要な地理情報を収集し、その資料をもとに回避行動を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・意欲的に地理情報を収集し、避難行動を検討する。
2月	第5章 生活圏の諸課題 1. 日本の自然環境と防災	① 知識・技能 ・インターネット上の電子地図などを活用し、防災対策を検討する技能を身につける。	② 思考・判断・表現 ・防災に必要な地理情報を収集し、その資料をもとに回避行動を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・意欲的に地理情報を収集し、避難行動を検討する。
3月	第5章 生活圏の諸課題 2. 生活圏の諸課題と地域調査	① 知識・技能 ・インターネット上の電子地図などを活用し、防災対策を検討する技能を身につける。	② 思考・判断・表現 ・防災に必要な地理情報を収集し、その資料をもとに回避行動を考察する。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表する。

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）								
使用副教材	詳述歴史総合演習ノート（実教出版）								
科目の目標 （学習指導要領）	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	○何を理解しているか、何が できるか（知識及び技能） 社会的事象を、位置や空間的な 広がり、歴史的な視点をもと に、人間の営みと関連づけて理 解する。	○理解していること・できるこ とをどう使うか（思考力、判断 力、表現力等） 社会的な見方・考え方をもと に、課題を追究したり、解決し たりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学 びに向かう力、人間性等） 広い視野に立ち、グローバル化 する国際社会に生きる平和で民 主的な国家および社会の有意な 形成者に必要な公民としての資 質・能力を身に付ける。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習の達成状況を 100点法で評価	学習評価結果の ABCを数値に 置き換えて評価		学習評価結果の ABCの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作		○							
課題等の提出内容		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード				○					
その他									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 1. ヨーロッパの海外進出と市民社会2. 清の繁栄3. 東アジア諸国家の貿易4. 江戸時代の日本の対外政策5. 江戸時代の社会と生活	① 知識・技能 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。	② 思考・判断・表現 ・18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定しアジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
5月	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成 6. イギリス産業革命7. アメリカ独立革命8. フランス革命とナポレオン9. ヴィーン体制	① 知識・技能 ・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化や世界市場の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	② 思考・判断・表現 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国と他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。
6月	10. 19世紀のイギリス・フランス11. イタリア・ドイツの統一12. 東方問題と19世紀のロシア13. アメリカの発展と分裂14. 世界市場の形成	① 知識・技能 ・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化や世界市場の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	② 思考・判断・表現 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国と他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。
7月	第3章 アジアの変容と日本の近代化 15. イスラーム世界の変革と再編16. 南アジア・東南アジアの変革と再編17. アヘン戦争の衝撃18. ゆらぐ幕藩体制19. 開国20. 幕末政局と社会変動	① 知識・技能 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	② 思考・判断・表現 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を深める。
8月				
9月	21. 新政府の成立と諸改革22. 富国強兵と文明開化23. 近代化の国際関係と国境・領土の画定24. 自由民権運動の高まり25. 立憲国家の成立	① 知識・技能 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	② 思考・判断・表現 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を深める。
10月	第4章 帝国主義の時代 26. 帝国主義と世界分治27. 帝国主義期の欧米社会28. 条約改正29. 日清戦争30. 日露戦争から韓国併合へ31. 日本の産業革命と社会問題32. アジア諸民族の独立運動・立憲革命	① 知識・技能 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	② 思考・判断・表現 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情についての理解を深める。
11月	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 33. 緊迫する国際関係34. 第一次世界大戦35. ロシア革命とシベリア出兵36. 大戦激戦と米騒動37. ヴェルサイユ体制とワシントン体制38. 西アジア・南アジアの民族運動39. 東アジア・東南アジアの民族運動40. 戦間期の欧米41. ひろがる社会運動と普通選挙の実現42. 政党政治の時代	① 知識・技能 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	② 思考・判断・表現 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・1910～20年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的に考察し、深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情を尊重する自覚を深める。
12月	第6章 経済危機と第二次世界大戦 43. 世界恐慌44. ファシズムの時代45. 満洲事変と軍部の台頭46. 日中戦争47. 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争48. 戦争と民衆49. 敗戦50. 国際連合と戦後世界51. 戦後と占領の始まり52. 民主化と日本国憲法53. 冷戦の開始54. 朝鮮戦争と日本	① 知識・技能 ・世界恐慌・ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、戦後の日本の国際社会への復帰を理解している。	② 思考・判断・表現 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、日本とその他の国の地域の動向を比較したり相互に関連付けたりして日本に対する占領政策を考察し、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国と他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
1月	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 55. 冷戦対立の推移56. 植民地の対立と第三世界の出現57. 米ソ両陣営の動揺58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長	① 知識・技能 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギー問題と地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を得て技能を身につけている。	② 思考・判断・表現 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し考察し、問いを表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から興味・関心を持ち、主体的に見出そうとしている。
2月	第8章 多極化する世界 59. 石油危機と世界経済60. 緊張緩和から冷戦の終結へ61. 地域協力の進展62. 日本の経済大国化	① 知識・技能 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。	② 思考・判断・表現 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響に着目し、日本の役割をグローバルな視点で表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を追究、解決する態度を養い、深めようとしている。
3月	第9章 グローバル化と現代社会 63. 冷戦体制の終結64. 地域紛争と世界経済65. グローバルな認識へ	① 知識・技能 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。	② 思考・判断・表現 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたり、表現している。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ・1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重しようとしている。

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	詳説日本史日本史探究(山川出版社)								
使用副教材	新詳日本史(浜島書店)								
科目の目標 (学習指導要領)	(1) 日本の歴史に関わる諸事象について、地理的要因、他国との関係性も含めて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 (2) 日本の歴史に関わる諸事象について、意味や意義などを多面的・多角的に考えたり、それを取捨選択して効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 (3) 日本の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 社会的事象を、位置や空間的な広がり、歴史的な視点をもとに、人間の営みと関連づけて理解する。	○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 社会的な見方・考え方をもとに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	◎								
小テスト	◎								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作		○							
課題等の提出内容		◎							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子				◎					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード				○					
その他 ※文書で記入可		◎							

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と	旧石器文化～古墳文化の成立と変容を理解し、出土品から得られる情報を読み取れる。	考古資料から原始・古代の特徴について多面的に考察し、表現している。	原始・古代の日本の歴史的環境を考察し、文化の特色を明らかにしようとしている。
5月	第Ⅰ部 原始・古代 第3章 律令国家の形成	東アジア情勢の変容の影響に着目して、律令体制の成立などを理解している。	仏教の受容などの大陸との交流について、資料を根拠として表現している。	中国大陸・朝鮮半島との関係などから、律令体制の成立過程を説明しようとしている。
6月	第Ⅰ部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開	隋・唐との関係に着目して、律令体制の形成に関連する仏教文化の特色を理解している。	仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。	隋・唐から導入された文化を考察し、政治や社会とのつながりを見出そうとしている。
7月	第Ⅰ部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開	藤原北家の権力掌握過程を資料から読み取り、摂関政治を理解している。	藤原北家の政治をこれまでの政治と比較し、その特色を根拠をもとに表現している。	摂関政治期の社会の特色を、東アジア情勢の変化による影響を通して示そうとしている。
8月				
9月	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	古代から中世の貴族政治や土地制度の変容について理解している。	古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。	中世社会時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。
10月	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などにおける武士の政治進出について、理解している。	武士台頭の契機や土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代転換について表現している。	宋・元との交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。
11月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	源平争乱、鎌倉幕府の成立過程、封建制度の成立などについて理解している。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、根拠を明確にして表現している。	中世社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。
12月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、理解している。	公武関係の変化が土地支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。	同時期に複数の政治勢力が存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。
1月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。	鎌倉時代の生産の発達と商品の流通について、多面的に考察し、表現している。	鎌倉時代の宗教や平安時代との差異について、主体的に追究しようとしている。
2月	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長	武家社会の変容やについて諸資料から情報を収集して理解している。	南北朝動乱の対立や東アジアの情勢変化について、多面的に考察し、表現している。	武家政権の変容や東アジア情勢の変化と前後の時代とのつながりを見出そうとしている。
3月	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長	鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移、日明貿易の展開などについて、理解している。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、根拠を明確にして表現している。	公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、武家支配の特質を追究している。

教科	地歴公民	科目	公共	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	高等学校公共(第一学習社)								
使用副教材	公共ノート(第一学習社)、最新公共資料集2024(第一学習社)、 公共10分間ノート(山川出版社)								
科目の目標 (学習指導要領)	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 社会的な見方・考え方をともに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○								
小テスト	○			○					
課題等の提出内容		○							
発表・作品制作		○							
学習に取り組む様子				○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1編第1章 公共的な空間をつくる私たち	・ライフサイクルや青年期の発達課題を理解できる。 ・対話を通して互いの様々な立場を理解し、多様性について考察する。 ・伝統や文化、ソクラテスの知徳合一や無知の知を考察する。 ・職業生活と自己実現、キャリアデザインを考察できる	② 思考・判断・表現 ・ライフサイクルや青年期の発達課題を多角的に考察できる。 ・対話を通して多様性について考察できる。 ・伝統や文化、ソクラテスの知徳合一や無知の知を説明できる。 ・職業生活と自己実現、キャリアデザインを理解できる	・自らの生き方を意欲的に探究しようとする。
5月	第1編第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・古今東西の先人の取組を理解できる。 ・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を理解できる。 ・ナショナルトラスト運動やエコロジー運動を通じて環境保護に関する取り組みを理解できる。 ・バイオテクノロジーの発達と出生前診断や	② 思考・判断・表現 ・古今東西の先人の取組をふまえ、自己の生き方を考察できる。 ・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を説明できる。 ・ナショナルトラスト運動やエコロジー運動を通じて環境保護に関する取り組みを考察で	・自ら生き方やあり方を意欲的に探究しようとする。
6月	第1編第3章 公共的な空間における基本的原理	・主権神授説と社会契約説、抵抗権、直接民主制を理解できる。 ・人の支配、法の支配を理解できる。 ・幸福を重視する考え方を理解できる。 ・世界の政治体制について理解できる。		・世界の政治体制に関心をもち意欲的に探究しようとする。
7月	第2編第1章 法的な主体となる私たち	・法やルールは、国家が制定し強制力が伴うことを理解できる。 ・基本的人権を理解できる。 ・法定手続きの保障、令状主義、黙秘権の保障を理解できる。 ・消費者に関する法律が定められていることを理解できる。 ・法に基づいて公正に解決するために必要な	② 思考・判断・表現 ・法やルールは、国家が制定し強制力が伴うことを説明できる。 ・基本的人権の目的や意義を多面的、多角的に考察できる。 ・法定手続きの保障、令状主義、黙秘権の保障を説明できる。 ・消費者に関する法律が定められた目的を考	・自分たちを取り巻く法と自分たちの関係に関心をもち意欲的に探究しようとする。
8月				
9月	第2編第2章 政治的な主体となる私たち	・選挙制度を理解できる。 ・選挙の意義と世論の形成や政党の役割をとらえる。 ・主権者である国民と国会の構成、国会と内閣の関係を理解できる。 ・地方自治のしくみを理解できる。	・小選挙区制度と比例代表制度などの選挙制度を多面的多角的に考察できる。 ・選挙の意義と世論の形成や政党の役割をとらえる。 ・国民と国会の構成、国会と内閣の関係をまとめることができる。 ・地方自治の目的を考察できる。 ・主権国家が並び立つ国際社会の成り立ちを	・選挙制度を意欲的に探究しようとする。
10月	第2編第2章 政治的な主体となる私たち	・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解できる。 ・領土問題の背景と現状を理解する。 ・国際社会の平和と安定を維持する国際連合の取り組みを理解する。 ・国際社会はポピュリズムが出現した背景を捉え、今日の国際社会の特徴について考察できる	・国際社会の成り立ちをまとめることができる。 ・領土問題の背景と現状を考察する。 ・国際社会の平和と安定を維持する国際連合の取り組みを考察する。 ・国際社会はポピュリズムが出現した背景を捉え、今日の国際社会の特徴について考察できる	・軍縮に向けた国際社会の役割や取り組みを意欲的に探究しようとする。
11月	第2編第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	・軍縮に向けた国際社会の役割や取り組みを理解できる。 ・ポピュリズムが出現した背景を捉える。 ・人種・民族問題と地域紛争の背景、現状を把握できる。 ・活発な経済活動と労働者の働きやすさをともに成り立たせるために必要なことを理解できる	・軍縮に向けた国際社会の役割や取り組みをまとめ、発表できる。 ・ポピュリズムが出現した背景を考察できる。 ・人種・民族問題と地域紛争の背景、現状をまとめることができる。 ・活発な経済活動と労働者の働きやすさを両方に必要なことをまとめることができる	・軍縮に向けた国際社会の役割や取り組みを意欲的に調べ、探究しようとしている。
12月	第2編第3章 経済的な主体となる私たち	・第二次世界大戦後から現代までの日本経済のあゆみと、現代の経済の課題を理解できる。 ・情報化の進展が日本経済への影響を理解できる。 ・市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解できる。 ・少子高齢化の進展と社会保障制度と財政を考察できる。 ・少子高齢化の進展と社会保障制度と財政を考察できる。 ・財政の意義やしくみを知り、日本の財政課題を理解できる。 ・日本の社会保障制度の課題を理解できる。 ・外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解できる。 ・経済のグローバル化が日本経済に与える影	・第二次世界大戦後から現代までの日本経済のあゆみと、現代の経済の課題をまとめることができる。 ・情報化の進展が日本経済への影響を考察できる。 ・市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを話し合うことができる。 ・少子高齢化の進展と社会保障制度と財政を考察できる。 ・財政の意義やしくみを知り、日本の財政課題をまとめ、発表できる。 ・日本の社会保障制度の課題をまとめることができる。 ・外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について考察できる。 ・経済のグローバル化が日本経済に与える影響を考察できる。	・投資の意義や投資に必要な考え方を調べ、意欲的に探究しようとしている。
1月		・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会の役割を理解できる。	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会の役割を理解できる。	・社会の変化が経済に与える影響や、財政の課題について関心をもち、意欲的に探究できる。
2月		・地域経済統合による長所や短所を理解できる。 ・国際社会における貧困や格差の原因を捉え、発展途上国の経済成長のための取り組みや制度を理解できる。 ・地球環境問題や資源・エネルギー問題を理解できる。	・地域経済統合による長所や短所をまとめることができる。 ・国際社会における貧困や格差の原因を捉え、発展途上国の経済成長のための取り組みや制度を考察できる。 ・地球環境問題や資源・エネルギー問題を調べ、まとめることができる。	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた国際社会の課題を意欲的に探究できる。
3月	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会の役割を理解できる。 ・国際社会における貧困や格差の原因を捉え、発展途上国の経済成長のための取り組みや制度を理解できる。 ・地球環境問題や資源・エネルギー問題を理解できる。 ・バイオテクノロジーの発達と出生前診断や専断死の問題を通して生命倫理を理解できる。 ・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた国際社会や国際機関の役割を理解できる。	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会の役割を理解できる。 ・国際社会における貧困や格差の原因を捉え、発展途上国の経済成長のための取り組みや制度を考察できる。 ・地球環境問題や資源・エネルギー問題を調べ、まとめることができる。 ・バイオテクノロジーの発達と出生前診断や専断死の問題を通して生命倫理を理解できる。 ・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた国際社会や国際機関の役割をまとめることができる。	・経済がグローバル化の中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や国際機関の取り組みを意欲的に探究できる。

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書		詳説日本史日本史探究(山川出版社)							
使用副教材		新詳日本史(浜島書店)							
科目の目標 (学習指導要領)		(1) 日本の歴史に関わる諸事象について、地理的要因、他国との関係性も含めて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 (2) 日本の歴史に関わる諸事象について、意味や意義などを多面的・多角的に考えたり、それを取捨選択して効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 (3) 日本の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 社会的事象を、位置や空間的な広がり、歴史的な視点をもとに、人間の営みと関連づけて理解する。	○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 社会的な見方・考え方をもとに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		◎							
小テスト		◎							
実技テスト パフォーマンステスト		○							
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			◎						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					◎				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可			◎						

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と	旧石器文化～古墳文化の成立と変容を理解し、出土品から得られる情報を読み取れる。	考古資料から原始・古代の特徴について多面的に考察し、表現している。	原始・古代の日本の歴史的環境を考察し、文化の特色を明らかにしようとしている。
5月	第Ⅰ部 原始・古代 第3章 律令国家の形成	東アジア情勢の変容の影響に着目して、律令体制の成立などを理解している。	仏教の受容などの大陸との交流について、資料を根拠として表現している。	中国大陸・朝鮮半島との関係などから、律令体制の成立過程を説明しようとしている。
6月	第Ⅰ部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開	隋・唐との関係に着目して、律令体制の形成に関連する仏教文化の特色を理解している。	仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。	隋・唐から導入された文化を考察し、政治や社会とのつながりを見出そうとしている。
7月	第Ⅰ部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開	藤原北家の権力掌握過程を資料から読み取り、摂関政治を理解している。	藤原北家の政治をこれまでの政治と比較し、その特色を根拠をもとに表現している。	摂関政治期の社会の特色を、東アジア情勢の変化による影響を通して示そうとしている。
8月				
9月	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	古代から中世の貴族政治や土地制度の変容について理解している。	古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。	中世社会時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。
10月	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進	平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などにおける武士の政治進出について、理解している。	武士台頭の契機や土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代転換について表現している。	宋・元との交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。
11月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	源平争乱、鎌倉幕府の成立過程、封建制度の成立などについて理解している。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、根拠を明確にして表現している。	中世社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。
12月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、理解している。	公武関係の変化が土地支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。	同時期に複数の政治勢力が存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。
1月	第Ⅱ部 中世 第6章 武家政権の成立	モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。	鎌倉時代の生産の発達と商品の流通について、多面的に考察し、表現している。	鎌倉時代の宗教や平安時代との差異について、主体的に追究しようとしている。
2月	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長	武家社会の変容やについて諸資料から情報を収集して理解している。	南北朝動乱の対立や東アジアの情勢変化について、多面的に考察し、表現している。	武家政権の変容や東アジア情勢の変化と前後の時代とのつながりを見出そうとしている。
3月	第Ⅱ部 中世 第7章 武家社会の成長	鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移、日明貿易の展開などについて、理解している。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、根拠を明確にして表現している。	公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、武家支配の特質を追究している。

教科	地歴公民	科目	政治経済	単位数	2	学年	3	類型	共通
使用教科書	高等学校政治・経済(第一学習社)								
使用副教材	最新政治経済資料集2024(第一学習社)、政治・経済ノート(第一学習社)入試対策問題集ステップアップ公共、政治・経済(第一学習社)								
科目の目標 (学習指導要領)	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 社会的な見方・考え方をともに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。		○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作		○							
課題等の提出内容		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード				○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	1経済主体と経済の循環 2生産のしくみと企業 3市場経済の機能と問題	経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界について理解している。	企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、課題を設定し多面的・多角的に考察し、表現している。	資本主義経済の課題について主体的に追究し、社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
5月	1公害と環境保全 2農業・食料問題 3中小企業の現状と課題	公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題について理解している。	② 思考・判断・表現 日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて多面的・多角的に考察し、表現している。	現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
6月	1情報化の進展と社会の変化 2消費者問題 3雇用と労働問題 4社会保障と福祉	情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。	② 思考・判断・表現 日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて多面的・多角的に考察し、表現している。	現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
7月	1貿易と国際収支 2戦後国際経済体制の展開	貿易の現状と意義、為替レート変動について理解できる。	国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	現代の国際経済について、諸課題を主体的に解決しようとしている。
8月				
9月	1発展途上国の経済 2グローバル化する世界経済 3地球環境問題	国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解できる。	国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	現代の国際経済について、諸課題を主体的に解決しようとしている。
10月	1戦後国際関係の展開と日本 2冷戦後の国際関係と日本	国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割を理解できる。	国際法の果たす役割および日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	国際社会の諸課題を主体的に考察し、解決しようとしている。
11月	1軍縮の動向と課題 2紛争・難民・テロリズム	軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について理解できる。	国際法の果たす役割および日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	国際社会の諸課題を主体的に考察し、解決しようとしている。
12月	1日本国憲法の制定と基本原理 2基本的人権の保障 3平和主義	法の意義と機能、基本的人権の意義を理解できる。	望ましい政治のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	現代の日本政治について、諸課題を主体的に解決しようとしている。
1月	1世界のおもな政治体制 2国会と立法 3内閣と行政	国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係を理解している。	日本の政治機構の課題を多面的・多角的に考察し、表現できる。	現代の司法の役割政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2月	1裁判所と司法 2地方自治	司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。	日本の政治機構の課題を多面的・多角的に考察し、表現できる。	現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3月				

教科	地歴公民	科目	公民探究	単位数	2	学年	3	類型	文系
使用教科書		最新図説公共(浜島書店)							
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		1 現実問題の解決に向けた基本的な知識を理解するとともに、それらを使用して現代社会での諸課題について理解する。(知識及び技能) 2 現実問題の解決に関するプレゼンテーションやレポート作成のために収集した情報を精査し、班員とともに構成し、グループ協議を通して協力しながら合意形成ができる。(思考力、判断力、表現力等) 3 現実問題の解決に関するプレゼンテーションやレポート作成のために意欲的に資料収集、問題探求する。また、グループ協議に積極的に参加し、議論ができる。(学びに向かう力、人間性等)							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度					
		○何を理解しているか、何ができるか(知識及び技能) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等) 社会的な見方・考え方をともに、課題を追究したり、解決したりする力を習得する。	○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等) 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。					
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度					
		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価					
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査		○							
課題等の提出内容		○		○					
発表・作品制作				○					
学習に取り組む様子				○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	【政治】地域の課題の解決を政策面から探究する 【経済】地域の課題の解決を経済面から探究する どの地域にどんな課題があるのか探究する 地域の課題を解決する方策を模索する	・地域の課題の解決に必要な考え方、さまざまな地域の施策等について理解し、自身の方策にいかすことができる。 ・地域のさまざまなデータを考える材料として利用し、自身の考えにいかすことができる。	・地域の課題を解決するための方策について考え、それを他に伝えることができる。 ・地域の課題についての探究、その解決についての模索の中で必要な資料を取捨選択できる。	・地域の課題の解決に関心を持ち、探究することができる。 ・発表等において、他から意見を真摯に受け止め、自身の探究にいかすことができる。
5月				
6月				
7月				
8月				
9月	【政治】地域の課題の解決を政策面から探究する 【経済】地域の課題の解決を経済面から探究する 地域の課題を解決する方策についての考察を深める	・地域の課題の解決に必要な考え方、さまざまな地域の施策等について理解し、自身の方策にいかすことができる。 ・地域のさまざまなデータを考える材料として利用し、自身の考えにいかすことができる。	・地域の課題を解決するための方策について考え、それを他に伝えることができる。 ・地域の課題についての探究、その解決についての模索の中で必要な資料を取捨選択できる。	・地域の課題の解決に関心を持ち、探究することができる。 ・発表等において、他から意見を真摯に受け止め、自身の探究にいかすことができる。
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3	学年	1	類型	共通
使用教科書		数研出版 新編 数学 I							
使用副教材		数研出版 テーマ							
科目の目標 (学習指導要領)		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を 100点法で評価	学習の達成状況を 100点法で評価		学習評価結果の ABCを数値に 置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○	○		○				
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子		○	○		○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 数と式 第2章 集合と命題	・指数法則や乗法公式の意味を理解し、展開ができる。 ・因数分解の公式を理解し、計算できる。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・分数が有限小数や循環小数で表すことができる。 ・根号を含む式の計算や有理化ができる。 ・不等式の解を求めることができる。 ・ド・モルガンの法則を理解し、利用できる。	・既に学習した計算の方法と関連付けることができる。 ・整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をするができる。 ・数を拡張してきた過程やその意義、数の四則演算の可能性について考察することができる。 ・集合の関係を図を用いて考察することができる。 ・命題$p \Rightarrow q$が真であることが、条件を満たす集合の包含関係と対応していることに気づく。 ・結論を否定して推論を始める、背理法の考え方ができる。	・整式の加法・減法、乗法公式や因数分解などに関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心を持ち、考察しようとする。 ・日常の事象や社会の事象に関連した課題の解決に、不等式を活用しようとする。 ・ド・モルガンの法則を問題解決に活用しようとする。 ・背理法の考え方に興味を持ち、これを証明に活用しようとする。
5月				
6月				
7月	第3章 2次関数	・関数の定義や関数の式$y=f(x)$の意味を理解できる。 ・2次関数$y=ax^2+bx+c$のグラフは、$y=ax^2$のグラフを平行移動したものであることを理解し、位置関係を調べられる。 ・$y=ax^2+bx+c$を$y=a(x-p)^2+q$の形に変形できる。 ・2次関数の最大値、最小値とその求め方について理解し、基本的な知識を身に付けている。 ・2次関数のグラフや式を用いて、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ・2次方程式の実数解の個数と判別式Dの符号の関係について理解している。 ・2次不等式の解の意味をグラフとの関係から理解している。	・2つの数量の関係を表、式、グラフなどを用いて考察することができる。 ・$y=ax^2+bx+c$のグラフは$y=ax^2$のグラフを平行移動したものであることを理解し、その移動について考察できる。 ・2次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができる。 ・具体的な事象の中に2次関数を見出し、その値の変化を考察することができる。 ・2次方程式の実数解の個数を2次方程式の解の公式を導き出す過程から考察することができる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフを用いて考察できる。	・具体的な事象の中にある2つの数量の関係に関心をもつ。 ・2次関数とそのグラフについて関心を持ち、調べようとする。 ・2次関数の値の変化の様子についてグラフを用いて考察しようとする。 ・具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。 ・解の公式に関心を持ち、2次方程式の実数解や、実数解の個数を調べることに活用しようとする。 ・2次関数のグラフを使って2次不等式の解を求めることができることを知り、2次不等式を解こうとする。
8月				
9月				
10月				
11月				
12月	第4章 図形と計量	・正弦、余弦および正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解している。 ・鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。 ・正弦定理・余弦定理を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・三角形の面積の公式の意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	・具体的な事象について三角比を使って考察できる。 ・三角比の相互関係を導く過程を考察できる。 ・座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察できる。 ・三角形の面積を、三角比を用いて表す過程を考察できる。	・三角比の相互関係に関心を持ち、直角三角形や三平方の定理を用いて調べようとする。 ・鈍角の三角比を考えることに関心を持ち、考察しようとする。 ・正弦定理・余弦定理が図形の計量の考察に有用であることに気づき、活用しようとする。 ・三角比を、平面図形や空間図形に活用しようとする。
1月				
2月	第5章 データの分析	・四分位範囲、分散、標準偏差、散布図と相関係数などの統計の用語の意味やその扱いを理解している。 ・統計の基本的な考えを用いてデータを整理・分析してその傾向を的確にとらえ説明することができる。	・データを整理した表や図から傾向を把握することができる。 ・代表値や分散、散布図などから、複数のデータの比較をすることができる。	・様々な事象から見出される確率や統計に関するデータの分析に関心を持ち、生活や問題解決の中で活用しようとする。
3月				

教科	数学	科目	数学A	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	数研出版 新編 数学A								
使用副教材	数研出版 基本と演習テーマ 数学Ⅰ＋A								
科目の目標 (学習指導要領)	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
	・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解して ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学の良さを認識し数学を活用しようとした り、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。						
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
	学習の達成状況を 100点法で評価	学習の達成状況を 100点法で評価	学習評価結果の ABCを数値に 置き換えて評価						
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
定期考査	○	○	○						
小テスト	○	○	○						
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作	○	○	○						
課題等の提出内容	○	○	○						
レポートの提出内容	○	○	○						
学習に取り組む様子	○	○	○						
自己評価・相互評価			○						
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 場合の数と確率	・順列、組合せの用語の意味や考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めることができる。 ・円順列、同じものを含む順列の考えと公式の意味を理解し、それらを利用して問題を解くことができる。 ・確率の基本性質を理解し、それを使って、積事象や和事象、余事象の確率を求めることができる。 ・期待値の意味を理解し、いろいろな事象の期待値を求めることができる。	・和の法則、積の法則が、場合の数を数えるときの元になっていることに気づくことができる。 ・場合の数を考えるに当たって、順序を考えるか否かに気づくことができる。 ・期待値を用いて損得を考察することができる。 ・反復試行の確率の公式を導く過程を考察できる。 ・条件付き確率は、すべての根元事象の起こる確率が等しければ、場合の数の数え上げに帰着できることに気づく。	・起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることに関心をもち、調べようとする。 ・場合の数を効率よく正確に数えるために、順列・組合せの考えを活用しようとする。 ・確率の基本的な性質があることに気づき、これらを利用して確率を求めようとする。 ・期待値を意思決定に活用しようとする。 ・独立な試行や反復試行を具体的な例から考えようとする。
5月				
6月				
7月				
8月				
9月	第2章 図形の性質	・三角形の角の2等分線と線分の比の関係について理解し、線分の長さを求めることができる。 ・円の性質を系統的に理解し、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解し基礎的な知識を身につけ、数学的な記号を用いて表現することができる。	・三角形の特別な点の幾何学的な意味を、いろいろな方法で考察することができる。 ・円周角の定理とその逆を使って、いろいろな円の性質が見出されることを考察することができる。 ・2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係について、それぞれどのような場合があるかを考察することができる。	・三角形において、3つの線分が1点で交わることの不思議さに気づき、その意味を調べようとする。 ・1つの弧に対する円周角が常に一定であることに気づき、円周角の持つ意味とその働きを理解し調べようとする。 ・2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を調べようとする。
10月				
11月				
12月				
1月	第3章 数学と人間の活動	・整数や座標、図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて、数学的な見方で理解する。 ・数学史的な話題、石取りゲームなどを通して、数学と文化とのかかわりについて、数学的な見方で理解する。	・人間の活動について、整数の性質や相似などの学んできたことをもとに考察しようとする。 ・パズルなどに数学的な要素を見出し、数学を活用して考察しようとする。	・人間の活動やパズルなどを理解するために、数学を活用しようとする。
2月				
3月				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3	学年	2	類型	文系
使用教科書		新編 数学Ⅱ（数研出版）							
使用副教材		基本と演習テーマ 数学Ⅱ							
科目の目標 （学習指導要領）		○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することで、数学の課題に取り組むことができる。 ○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等） 主体的・協働的に取り組むことで、実社会や実生活との関わりから問いを見出し、解決することができる。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。		・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○	○		○				
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子		○	○		○				
自己評価・相互評価						○			
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	1章 式と証明	・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 ・乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。	・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。	・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている
5月				
6月	2章 複素数と方程式	・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。	・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている
7月				
8月	3章 図形と方程式	・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。	・座標平面上の図形について、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどを用いて軌跡や領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
9月				
10月				
11月	4章 三角関数	・角の概念や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。	・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
12月				
1月				
2月	5章 指数関数・対数関数	・指数を有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	・指数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
3月				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4	学年	2	類型	理系
使用教科書		新編 数学Ⅱ（数研出版）							
使用副教材		基本と演習テーマ 数学Ⅱ							
科目の目標 （学習指導要領）		○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することで、数学の課題に取り組むことができる。 ○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等） 主体的・協働的に取り組むことで、実社会や実生活との関わりから問いを見出し、解決することができる。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。		・方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数及び微分と積分における論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○	○		○				
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子		○	○		○				
自己評価・相互評価						○			
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	1章 式と証明	・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 ・乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。	・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。	・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
5月				
6月	2章 複素数と方程式	・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ・因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。	・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	・事象をいろいろな式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
7月				
8月	3章 図形と方程式	・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。	・座標平面上の図形について、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどを用いて軌跡や領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
9月				
10月	4章 三角関数	・角の概念や弧度法による角度の表し方について理解している。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。	・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
11月				
12月	5章 指数関数・対数関数	・指数を有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	・指数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
1月				
2月	第6章 微分法と積分法	・微分係数や導関数の意味について理解し、基本的な導関数を求めることができる。 ・関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、基本的な不定積分や定積分の値を求めることができる。	・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。	・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
3月				

教科	数学	科目	数学B	単位数	2	学年	2	類型	文特・理
使用教科書		数研出版 新編 数学B							
使用副教材		数研出版 基本と演習テーマ数学Ⅱ B							
科目の目標 (学習指導要領)		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関りについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を 100点法で評価	学習の達成状況を 100点法で評価		学習評価結果の ABCを数値に 置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○	○		○				
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子		○	○		○				
自己評価・相互評価						○			
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 数列 第1節 等差数列 と等比数列(14)	・数列の表し方や一般項の意味を理解し、数列の各項や、数列の一般項を求めることができる。 ・等差数列と等比数列について理解し、その和と一般項を求めることができる。	・等差数列の和の公式を活用して、いろいろな自然数の和を考察することができる。 ・日常の事象を数学的に捉え、等比数列の考えを問題解決に活用することができる。	・規則的に並ぶ数の列や日常の中にある数の並びに関心を持ち、その規則性を発見しようとしたり、説明しようとしたりしている。
5月				
6月	第1章 数列 第2節 いろいろな数列(13)	・記号 Σ を用いた和の性質を理解している ・公式を利用して自然数の和や自然数の2乗の和を求めることができる。 ・階差数列について理解している。	・ Σ の性質や自然数の和の公式、自然数の2乗の和の公式を利用して、いろいろな数列の和を求めることができる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を考察することができる。	・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を考察しようとしている。 ・分数で表された数列の和の求め方について考察しようとしている。
7月				
8月				
9月	第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法(9)	・漸化式について理解し、等差数列や等比数列を漸化式で表すことや、簡単な漸化式で表された数列の各項を求めることができる。	・数列の隣接する2項間にある再帰的な関係に着目し、それを式に表すことができる。 ・数学的帰納法を用いて証明し考察することができる	・数列の隣接する2項間にある再帰的な関係に着目し、それを式に表そうとしている。 ・数学的帰納法を用いた証明と他の証明方法を比較し、多面的に考察しようとしている。
10月				
11月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布(23)	・確率変数の分散及び標準偏差について理解し、確率分布からその確率変数の分散及び標準偏差を求めることができる。 ・二項分布に従う確率変数の平均、分散、標準偏差を求めることができる。 ・正規分布表を用いて確率を求めることができる。	・確率変数の分散と確率分布の特徴の関係について考察することができる。 ・正規分布の平均や標準偏差と分布曲線の形の関係について考察することができる。 ・身近な問題を正規分布を用いて考察することができる。	・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 ・正規分布の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしている。
12月				
1月				
2月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測(11)	・標本平均の分布と母集団の分布の関係について理解している。 ・正規分布を用いた仮説検定の方法を理解している。	・標本の大きさと標本平均の分布の関係について考察することができる。 ・主張の妥当性について、仮説検定の考え方に基づいて批判的に考察することができる。	・標本の大きさと標本平均の分布の関係について考察しようとしている。 ・主張の妥当性について、仮説検定の考え方に基づいて批判的に考察しようとしている。
3月				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2	学年	3	類型	文系
使用教科書		新編 数学Ⅱ（数研出版）							
使用副教材		基本と演習テーマ数学Ⅱ、リンク数学演習Ⅰ＋A							
科目の目標 (学習指導要領)		○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することで、数学の課題に取り組むことができる。 ○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等） 主体的・協働的に取り組むことで、実社会や実生活との関わりから問いを見出し、解決することができる。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
		いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。			学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
		学習の達成状況を100点法で評価	学習の達成状況を100点法で評価			学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価			
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体的に学習に取り組む態度			
定期考査		○	○			○			
小テスト		○	○			○			
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作		○	○			○			
課題等の提出内容		○	○			○			
レポートの提出内容		○	○			○			
学習に取り組む様子		○	○			○			
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第5章 指数関数と対数関数	・指数を有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその性質について理解し、対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数・対数関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	・事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
5月				
6月	第6章 微分法と積分法	・微分係数や導関数の意味について理解し、基本的な導関数を求めることができる。 ・関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、基本的な不定積分や定積分の値を求めることができる。	・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。	・事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
7月				
8月				
9月				
10月	問題演習 第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第4章 図形と計量 第5章 データの分析	・指数法則や乗法公式の意味を理解し、展開ができる。 ・因数分解の公式を理解し、計算できる。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・平方根の基本性質を理解している。 ・根号を含む式の計算や有理化ができる。 ・関数のグラフの意味を理解している。 ・2次関数のグラフの軸と頂点の座標の方程式を求めることができる。 ・2次関数のグラフや式を用いて、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。	・$y=ax^2+bx+c$のグラフとx軸との共有点のx座標と$ax^2+bx+c=0$の解の関係について考察する。 ・座標平面上の半円を用いて、$180^\circ-\theta$の三角比とθの三角比との関係を導く過程を考察することができる。 ・三角形の面積を、三角比を用いて表す過程を考察することができる。 ・三角比を空間図形の計量の考察に用いることができる。 ・散布図と相関係数から2つの変量の間の相関関係を考察できる。	・日常の事象や社会の事象に関連した課題の解決に、不等式を活用しようとする。 ・背理法の考え方に興味を持ち、これを証明に活用しようとする。 ・正弦定理・余弦定理が図形の計量の考察に有用であることをに気づき、活用しようとする。 ・三角比を、平面図形や空間図形の計量に活用しようとする。 ・観察や実験を通して得られたデータから散らばりを理解して、全体の傾向をつかもうとする。
11月				
12月				
1月				

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4	学年	3	類型	理系
使用教科書		数研出版 新編 数学Ⅰ							
使用副教材		数研出版 基本と演習テーマ数学Ⅲ、リンク数学演習ⅠA＋ⅡBC							
科目の目標 (学習指導要領)		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。		極限、微分法及び積分法における事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		極限、微分法及び積分法における論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○		○				
小テスト	○		○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作	○		○		○				
課題等の提出内容	○		○		○				
レポートの提出内容	○		○		○				
学習に取り組む様子	○		○		○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 関数	○数列の極限値の定義を理解している。 ○簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる。 ○収束する数列の極限値の性質を理解し、それを用いて、数列の極限が求められる。	○数列の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。	○不定形の数列の式を、不定形を解消するように工夫して変形しようとする。 ○「はさみうちの原理」を用いて極限を求める方法に、興味・関心をもつ。
5月	第2章 極限	○数列の極限値の定義を理解している。 ○簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる。 ○収束する数列の極限値の性質を理解し、それを用いて、数列の極限が求められる。	○数列の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる。	○不定形の数列の式を、不定形を解消するように工夫して変形しようとする。 ○「はさみうちの原理」を用いて極限を求める方法に、興味・関心をもつ
6月	第3章 微分法	○三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。 ○自然対数eの定義と、対数関数の導関数を理解し、対数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる。	○対数微分法を利用して、複雑な関数を微分について考察することができる。 ○ α が実数のとき、 $(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ が成立することを考察できる。	○自然対数の底eを考える必要性に興味をもち、考察しようとする。
7月				
8月	第4章 微分法の応用	○関数の極大値・極小値や最大値・最小値を調べる際に、増減表をかくて考察している。 ○導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減が調べられる。	○平均値の定理を利用して「導関数の符号と関数の増減」の関係を証明する方法を、理解することができる。 ○ $f(x)$ が $x=a$ で微分可能でなくても、 $f(a)$ が極値となることがあることを理解している。また、その極値を求めることができる。	○関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて考察しようとする。○関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。
9月				
10月				
11月	第5章 積分法の応用	○不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 ○不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 ○定積分の置換積分法では、積分区間の変換に注意して定積分を計算している。	○微分法の逆演算として、不定積分を計算することができる。 ○置換積分法を利用して、円の面積を求める公式が数学的にきちんと証明できたことを理解することができる。	○積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 ○置換積分法により、複雑な関数の定積分を求めることに興味・関心を示す。
12月				
1月				

教科	数学	科目	数学C	単位数	2	学年	3	類型	文特・理系
使用教科書		新編数学C（数研出版）							
使用副教材									
科目の目標 （学習指導要領）		ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を100点法で評価	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
課題等の提出内容		○	○		○				
発表・作品制作		○	○		○				
学習に取り組む様子		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	1. ベクトル 2. ベクトルの演算	○ベクトルの和の定義を理解し、それを図示できる。 ○ベクトルの和の計算ができる。 ○ベクトルの差の定義を理解し、それを図示できる。 ○ベクトルの実数倍の定義を理解し、式で表現できる。	○ベクトルの和、差、実数倍の定義をもとに、それらを組み合わせたベクトルの図示ができる。 ○ベクトルの平行条件を成分表示にも適用し、成分を定めることができる。	○ベクトルの演算に興味をもち、数式の演算法則との類似点を考察しようとする。 ○成分表示されたベクトルの演算法則を、ベクトルの演算法則から導き出そうとする。 ○ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。
5月	3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	○ベクトルの成分表示の仕組みを理解し、具体的なベクトルを成分表示できる。 ○成分表示されたベクトルの和、差、実数倍の計算ができる。 ○成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。	○点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。 ○ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。	○内積の性質を、既習の知識を用いて証明しようとする。 ○三角形の面積が内積で表されることに興味・関心をもち、問題解決に利用しようとする。
6月	5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示	○成分表示された2つのベクトルのなす角を、内積を用いて求めることができる。 ○ベクトルの垂直・平行条件を理解し、成分を定めることができる。	○内積の性質を用いて、等式を証明したり、ベクトルの大きさやなす角を求めたりすることができる。 ○位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 ○位置ベクトルを活用して、3点が一直線上にあることを証明できる。	○様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ○座標空間における点の表し方を、座標平面における点の表し方の拡張として捉えようとする。 ○平面上のベクトルの内積の性質が空間でも成り立つことから、内積の定義が次元によらないことに興味をもつ。
7月	1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分	○空間図形の中で、等しいベクトルや逆ベクトルを探すことができる。 ○空間図形において、ベクトルの和や差を考えることができる。	○空間のベクトルが3つのベクトルの線形和で1通りに表される理由について、平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることから説明できる。	○座標空間における点の表し方を、座標平面における点の表し方の拡張として捉えようとする。 ○空間のベクトルの成分表示について、平面上のベクトルの成分表示の拡張として捉えようとする。
8月				
9月	4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形	○平行六面体におけるベクトルを、和の形で表すことができる。	○空間における図形を、1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。	○平面上のベクトルの内積の性質が空間でも成り立つことから、内積の定義が次元によらないことに興味をもつ。
10月	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	○複素数平面上で、実軸、原点、虚軸に関して対称な点を表す複素数が、もとの複素数に対してどのような数であるか、理解している。 ○複素数の和、差、実数倍を計算することができる。	○複素数の和、差、実数倍の、複素数平面における図形的意味を理解し、説明できる。 ○共役複素数の性質を理解し、また、それらを証明問題に利用することができる。	○複素数平面の定義から、複素数の和、差や実数倍が複素数平面上で何を意味するか自ら考察しようとする。 ○複素数 z が実数や純虚数になる条件について、様々な方法で考察しようとする。
11月	1. 放物線 2. 楕円	○放物線の標準形について理解し、放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また、条件から放物線の方程式を求めることができる。 ○焦点の座標などから、楕円の方程式を求めることができる。	○軌跡の考え方をを用いて、放物線の方程式を導くことができる。 ○軌跡の考え方をを用いて、楕円の方程式を導くことができる。	○既知の円や放物線などの曲線を、条件を満たす点の軌跡として捉えなおそうとする。
12月	3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動	○双曲線の標準形について理解し、双曲線の概形をかいたり焦点や頂点、漸近線を求めたりできる	○軌跡の考え方をを用いて、双曲線の方程式を導くことができる。	○焦点が y 軸上にある楕円の方程式について、焦点が x 軸上にある楕円をもとに考察しようとする。
1月	5. 2次曲線と直線	○ x 、 y の2次式を変形して、2次曲線の概形を考えることができる。	○2次曲線と直線の共有点を連立方程式の解と捉え、共有点の個数について考察できる	○双曲線の漸近線について、曲線が限りなく近づくことを確かめようとする。
2月				
3月				

教科	数学	科目	数学探究	単位数	4	学年	3	類型	理系
使用教科書		「改訂版チャート式 基礎と演習 数学Ⅰ＋A」（数研出版）							
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理することができる。	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的に考え、簡潔・的確に表現できる。	数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度を身につけ、粘り強く考え問題解決できる。						
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
	学習の達成状況を100点法で評価	学習の達成状況を100点法で評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価						
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度						
定期考査	○	○	○						
小テスト	○	○	○						
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作	○	○	○						
課題等の提出内容	○	○	○						
レポートの提出内容	○	○	○						
学習に取り組む様子	○	○	○						
自己評価・相互評価			○						
振り返りカード									
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 数と式	○指数法則や乗法公式の意味を理解し、展開ができる。 ○因数分解の公式を理解し、計算できる。 ○数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ○平方根の基本性質を理解している。 ○根号を含む式の計算や有理化ができる。	○整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方ができる。 ○四則演算について考察することができる。 ○数を拡張してきた過程や数の四則演算の考察ができる。	○整式の加法・減法・乗法公式や因数分解などに関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。 ○数を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数の拡張に関心を持ち、考察しようとする。
5月	第2章 集合と命題	○1次不等式とその解の意味を理解し、解を求めることができる。 ○集合と命題の定義を理解し、必要条件、十分条件、逆、対偶などを表現することができる。	○1次不等式や連立不等式の解を求めることができる。 ○命題の逆・裏・対偶の関係を集合の関係に対応させて考察できる。	○日常の事象や社会の事象に関連した課題の解決に、不等式を活用しようとする。 ○背理法の考え方に興味を持ち、これを証明に活用しようとする。
6月	第3章 2次関数	○関数のグラフの意味を理解している。 ○2次関数のグラフの軸と頂点の座標の方程式を求めることができる。 ○2次関数のグラフや式を用いて、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。	○2次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができる。 ○2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフは $y = ax^2$ のグラフを平行移動したものであることを理解し、考察できる。	○2次関数とそのグラフについて関心を持ち、調べようとする。 ○具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。
7月				
8月	第4章 図形と計量 第5章 データの分析	○三角形の面積の公式の意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 ○四分位数、四分範囲、分散、標準偏差を求めることができる。	○三角形の面積を、三角比を用いて表す過程を考察することができる。 ○三角比を空間図形の計量の考察に用いることができる。 ○散布図と相関係数から2つの変量の間の相関関係を考察できる。	○正弦定理・余弦定理が図形の計量の考察に有用であることに気付く、活用しようとする。 ○三角比を、平面図形や空間図形の計量に活用しようとする。 ○観察や実験を通して得られたデータから散らばりを理解して、全体の傾向をつかもうとする。
9月				
10月	第1章 場合の数と確率	○和の法則、積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 ○順列、組合せの用語の意味や考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めることができる。 ○確率の意味や、場合の数を求めることで確率を計算する方法を理解し、具体的な事象の確率を求めるための基礎的な知識を身に付けている。 ○確率の基本性質を理解し、それを使って、積事象や和事象、余事象の確率を求めることができる。	○和の法則、積の法則が、場合の数を数えるときの元になっていることに気づくことができる。 ○場合の数を考えるに当たって、順序を考えたか否かに気づくことができる。 ○試行の結果として起こる事柄を事象として考え、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○確率の基本性質を導く過程を考察することができる。	○起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることに関心をもち、調べようとする。 ○場合の数を効率よく正確に数えるために、順列・組合せの考えを活用しようとする。 ○根元事象の個数の割合を考えることによって確率が定義されることに気づき、これを使って確率を求めようとする。 ○確率の基本性質があることに気づき、これらを利用して確率を求めようとする。 ○期待値を意思決定に活用しようとする。
11月				
12月	第2章 図形の性質	○三角形の角の2等分線と線分の比の関係について理解し、線分の長さを求めることができる。 ○三角形の重心や外心などから、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ○円の性質を系統的に理解し、線分の長さや角の大きさを求めることができる。	○平行な直線と線分の比について考察することができる。 ○円周角の定理とその逆について考察することができる。 ○円周角の定理とその逆を使って、いろいろな円の性質が見出されることを考察することができる。	○平行な直線を切る線分の比が等しいことに気づき、これが正しいことを調べようとする。 ○円に内接する四角形、接線と弦のなす角、方べきの定理など、円の性質の考察に当たって、円周角の定理が有用であることに気づき、この定理を活用しようとする。
1月	第3章 数学と人間と活動	○ユークリッドの互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 ○二元一次方程式の整数解を求めることができる。 ○$ax + by = 1$の形の二元一次方程式の特殊解を求めるための知識を身に付けている。	○整数の除法の性質からユークリッドの互除法の仕組みに気づく。 ○二元一次方程式の特殊解を求める際に、ユークリッドの互除法が活用できることに気づく。	③ 主体的に学習に取り組む態度 ○整数の除法の性質に関心をもち、2つの数の最大公約数を求めようとする。 ○ユークリッドの互除法を活用して $ax + by = 1$ の形の二元一次方程式の特殊解を求めようとする。

教科	生物基礎	科目	生物基礎	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書		高校生物基礎（実教出版）							
使用副教材		アクセスノート 生物基礎（実教出版）							
科目の目標 （学習指導要領）		生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。		生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性（8）	・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。	・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。	・生物の共通性を、実験や観察を通して見だし、理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞について、その細胞に含まれる細胞小器官を基に、違いを理解しようとする。
5月	2節 細胞とエネルギー（6）	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。	・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。
6月	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA（8）	・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。	・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。	・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。
7月	2節 遺伝情報とタンパク質の合成（6）	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。	・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。	・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。
8月				
9月	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境（6）	・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。	・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。	・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。
10月	2節 体内環境の維持のしくみ（6）	・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。	・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。	・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解しようとする。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見だし、理解しようとする。
11月	3節 免疫（8）	・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。	・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。	・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。
12月	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち（6）	・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。	・資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。	・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。
1月	2節 植生とバイオーム（4）	・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。	・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。	・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。
2月	3節 生態系と生物の多様性（4）	・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。	・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。	・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できる。
3月	4節 生態系のバランスと保全（2）	・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。	・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。	・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2	学年	2	類型	理
使用教科書		高等学校 物理基礎（第一学習社）							
使用副教材		セミナー 物理基礎（第一学習社）							
科目の目標 (学習指導要領)		【科目の目標】（学習指導要領） ○何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能） 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって観察、実験などを行い、自然現象に対する基本的な原理・法則を理解する。 ○理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等） 自然の事物・現象から問題を見出し、その結果を個人でまとめ、他者との意見交換などを通して、より科学的な概念を形成する。 ○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等） 自然を敬い、自然現象に進んで関わり、科学的根拠に基づいて判断する態度を身につけ、日常生活における問題発見や課題解決の場面で活かせる。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		自然の事物・現象について、基本的な概念や原理法則を理解し、知識を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を100点法で評価	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○						
小テスト		○	○						
課題等の提出内容					○				
発表・作品制作		○	○		○				
学習に取り組む様子					○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	序章 第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節 (5)	物理量の定義や有効数字の意味を理解して、変位や速度、相対速度などの計算ができる。	誤差が生じる原因を理解して有効数字の桁数を考えたり、グラフから物体の位置や速度を的確に読み取ることができる。	物理量の表し方や誤差と有効数字について意欲的に学習し、身のまわりの物体の運動の位置や変位、速度を理解しようとする。
5月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節 (5)	等加速度直線運動の特徴から関係式を導き、落下する物体が鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動をすることを理解する。	物体の位置と時間などの関係をもとに $x-t$ グラフや $v-t$ グラフ、 $a-t$ を描き、さまざまな物体の運動を説明することができる。	速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度や自由落下について日常にある現象と結び付けて考察しようとする。
6月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第2節 (8)	力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解する。質量と重さの違いを理解し、重力、弾性力を計算することができる。	摩擦力や空気抵抗を含めたつりあいの式を考え、運動方程式を立てて運動の様子を考察することができる。	日常での経験と照らし合わせて力のはたらきを観察し、力のつりあいや作用・反作用の法則を物理学的に理解しようとする。
7月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第2節 (6)	力の合成・分解を踏まえ、力のつりあいを考えることができる。作用・反作用とつりあう2力とを区別することができる。	さまざまな状態の物体についてはたらく力を図示し、運動方程式を用いて物体がどのような運動をするかを考察できる。	力と質量と加速度の間にどのような関係があるかを予想し、主体的に実験に取り組んでいる。
8月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第2節 (2)	さまざまな運動状態における物体について、運動方程式を立てることができる。	浮力が生じるしくみを理解し、水中で物体が受ける力を的確に図示することができる。	摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。
9月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第3節 (8)	物理における仕事、仕事率、運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕事との関係についても式を用いて計算できる。	物理における仕事の特徴を運動エネルギーと関連づけて理解し、さまざまな力がする仕事を考えることができる。	日常における仕事との違いに留意し、物理における仕事や運動エネルギー、位置エネルギーについて理解しようとする。
10月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第3節 (6)	保存力の特徴から位置エネルギーとの関係について理解し、力学的エネルギー保存の法則を導いて式を立てることができる。	種々の物体の運動について力学的エネルギー保存の法則を適用し、力学的エネルギーが保存されない場合の運動も式を用いて考えることができる。	運動エネルギーと位置エネルギーの両者から、エネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。
11月	第Ⅱ章 熱 第1節 (8)	熱運動と温度との関係やセルシウス温度と絶対温度の関係を理解する。熱容量と比熱の関係から熱量の保存についての式を立てることができる。	セルシウス温度と絶対温度の違いを理解し、説明することができる。温度の異なる物体間で熱がどちら向きに移動するかを考えることができる。	セルシウス温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱や熱と仕事の関係について、日常における現象と結び付けてを主体的に考えようとする。
12月	第Ⅱ章 熱 第1節 (6)	熱力学の第1法則をに関わる各物理量を計算することができる。熱効率を計算やエネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解できる。	物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について理解し、熱と仕事の関係について考察することができる。熱機関の基本的なしくみを説明することができる。	熱力学の第1法則を具体的な現象に適用して考察しようとする。エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。
1月	第Ⅲ章 波動 第1節 (6)	水面に浮かぶ木の葉などの例をもとに、波と媒質について理解する。波動実験用のばねによる観察などを通して、波の伝わり方を理解する。	定常波ができる条件を理解し、2つの波が重なりあったときの作図ができる。反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。	身のまわりには、さまざまな種類の波があることを理解し、 $y-x$ グラフ、 $y-t$ グラフを自らの力で描こうと努力している。
2月	第Ⅲ章 波動 第1節 (8)	単振動と等速円運動の関係を学習し、波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解する。	$y-x$ グラフ、 $y-t$ グラフの違いを理解し、相互のグラフを描くことができる。波の重ね合わせや独立性を踏まえ、2つの波により生じる波形を表現できる。	横波、縦波の違いを理解し、縦波のグラフへの表し方を考えている。波が重なり通り過ぎるようすから、重なり合う波の性質を考察している。
3月	第Ⅲ章 波動 第1節 (2)	横波と縦波の定義を理解し、縦波を横波として表現する方法を理解する。	定常波の特徴から進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。正弦波の反射によって定常波が生じることを説明できる。	自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理学的に説明しようとする。

教科	理科	科目	化学	単位数	2	学年	2	類型	理系
使用教科書	新編 化学（数研出版）								
使用副教材	新課程 リードLightノート化学（数研出版）								
科目の目標 （学習指導要領）	生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。		生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○	○		○					
小テスト	○	○		○					
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容	○	○		○					
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード	○	○		○					
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	・中和と塩 ・中和滴定 (7)	中和とその量的関係を理解する。中和滴定の器具の使い方と実験操作を理解する。滴定曲線を分析し、適切な指示薬を選択できる。	塩をつくるもとになった酸と塩基およびその強弱を説明できる。中和点が中性になるとは限らないことを説明できる。	実験を通して食酢の濃度を求め、得られた結果を分析して中和の量的関係を理解しようとする。
5月	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 (8)	酸化還元の仕事みを理解し、酸化剤と還元剤から酸化還元イオン反応式をつくることができる。また、量的関係を理解する。	酸化還元の仕事みを酸素、水素、電子の授受および酸化数で説明できる。	生活の中の酸化と還元を考えようとする。実験を通して酸化剤と還元剤の働きの強さを調べようとする。
6月	・金属の酸化還元反応 ・電池 (7)	金属の陽イオンへのなりやすさを比較し、金属の反応性に違いがあることを理解する。電池のしくみについて理解する。	金属と空気、水、酸との反応性の違いを、イオン化傾向と関連づけて考えることができる。電池の各電極での反応を反応式で表せる。	金属の陽イオンへのなりやすさを調べてその関係性を見いだそうとする。身のまわりの電池について興味をもち、深く学ぼうとする。
7月	・電気分解 (7)	電気分解のしくみに基づき、各電極における反応について理解する。	電気分解における各電極での反応を反応式で書き、その量的関係の計算ができる。	電気分解の工業的な利用について興味をもち、深く学ぼうとする。
8月				
9月	・結晶とアモルファス ・金属結晶 (5)	結晶とアモルファスの違いや、金属結晶の特徴について理解する。	単位格子の一边の長さから金属原子の半径を求めることができる。	結晶やアモルファスの性質に興味をもち、深く学ぼうとする。
10月	・イオン結晶 ・分子間力と分子結晶 ・共通結合の結晶 (5)	各結晶の特徴について理解する。	単位格子の一边の長さからイオンの半径を求めることができる。	各結晶の性質の違いに興味をもち、深く学ぼうとする。
11月	・粒子の熱運動 ・三態の変化とエネルギー ・気液平衡と蒸気圧 (7)	粒子の熱運動について理解する。気液平衡について理解する。状態図について理解する。	蒸気圧曲線から物質の蒸気圧や沸点を判断することができる。状態図を読み取ることができる。	粒子の熱運動や物質の状態変化について興味をもち、深く学ぼうとする。
12月	・気体の体積 ・気体の状態方程式 (6)	ボイル・シャルルの法則や理想気体の状態方程式について理解する。	ボイル・シャルルの法則や理想気体の状態方程式を用いて、気体の体積や圧力、絶対温度を求めることができる。	気体の性質に興味をもち、深く学ぼうとする。
1月	・混合気体の圧力 ・実在気体 (6)	分圧の法則について理解する。理想気体と実在気体について理解する。	分圧の法則を用いて、混合気体の体積や圧力、絶対温度を求めることができる。	理想気体と実在気体の違いに興味をもち、深く学ぼうとする。
2月	・溶解とそのしくみ ・溶解度 (7)	水和や溶解平衡について理解する。	固体や気体の溶解度を求めることができる。	溶解のしくみや、固体と気体の溶解の違いに興味をもち、深く学ぼうとする。
3月	・希薄溶液の性質 ・コロイド溶液 (7)	希薄溶液やコロイドについて理解する。	希薄溶液の沸点上昇度や凝固点降下度、浸透圧を求めることができる。	身近なコロイドに興味をもち、深く学ぼうとする。

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2	学年	3	類型	文系
使用教科書	高等学校 地学基礎（第一学習社）								
使用副教材	ネオパルノート 地学基礎（第一学習社）								
科目の目標 (学習指導要領)	・現在の地球の活動について観察，実験などを通して探究し，地球の構造や，プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。 ・地球の現在に至るまでの過程について観察，実験などを通して探究し，太陽系に誕生した惑星としての地球の特徴や，現在までの地球規模の自然環境および生物の変遷を理解する。また，地球の環境と人間生活との関わりについて理解する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付けている。		地学的な事物・現象の中に問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。		地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○		○				
小テスト	○		○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容	○		○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観	・エラトステネスの測定法をもとに、計算によって地球の大きさを求めることができる。 ・地球が回転楕円体であることを理解している。	・地図を利用した実習を行うことによって、地球の正確な形を考察することができる。 ・地球を構成する元素を示すグラフを判読し、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。	・数学的な知識から、地球の形や大きさについて与えられた課題の解決を図ろうとしている。 ・中学で学んだ岩石の知識をもとに、地球内部の物質の違いについて理解を深めようとしている。
5月	第2節 プレーートの運動	・プレートの種類と世界のプレートの分布を理解している。 ・変成岩を、組織や鉱物の種類から分類することができる。	・プレートの動きから、プレート境界で見られる地形的特徴を説明することができる。 ・断層や褶曲を、その形態から分類し、どのように形成されたかを考察できる。	・中学で学習したプレートの概念を、より正確なものとして体系的に理解しようとしている。 ・身近な断層や褶曲、変成岩に興味をもち、その形成について考察し、理解を深めようとしている。
6月	第2章 地球の活動 第1節 地震	・世界と日本付近における地震の分布について、プレート境界との関係などの特徴を理解している。 ・大森公式をもとに、初期微動継続時間から震源までの距離を計算によって求めることができる。	・世界の地震の分布から、地震の発生とプレートの分布や運動との関連を説明することができる。 ・日本付近の地震の分布図を利用した実習を行うことによって、日本付近の地震の分布の特徴を見いだすことができる。	・中学で学習した地震の知識をもとに、地震の分布の特徴や、震源の決定のしかたについて理解を深めようとしている。 ・地震の分布や地下のプレートに関する資料から、地震の発生とプレートの動きとの関連について検討して、課題や疑問を見いだしている。
7月	第2節 火山活動	・世界および日本の火山分布や、火山の形成される地域のプレートの分布などの特徴を理解している。 ・火山噴出物の種類や、マグマの性質と噴火の様式および火山の形の関連について理解し、知識として身に付けている。	・世界および日本の火山分布から、火山の形成とプレートの分布や運動との関連を説明することができる。 ・マグマの性質と噴火の様式や火山の形を示す表から、実際の火山について、噴火のしかたやその形とマグマの性質との関連を考察することができる。	・中学で学習した火山活動や火成岩の知識をもとに、理解を深めようとしている。 ・世界および日本の火山分布や地下のプレートに関する資料から、火山の形成とプレートの分布や運動との関連について検討して、課題や疑問を見いだしている。
9月	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動	・大気圏の構造の特徴や大気中で見られる現象を理解し、知識として身に付けている。 ・高度別の気温のデータから、グラフを作成し、気温減率を計算によって求めることができる。	・大気圏の構造を示すグラフを判読し、大気圏が高度による気温の変化にもとづいて区分されていることを確認することができる。 ・太陽放射と地球放射の波長とエネルギーのグラフから、太陽放射と地球放射を比較し、説明することができる。	・中学で学習した大気圧の知識をもとに、高度の変化に伴う気圧の変化について理解しようとしている。 ・大気圏の構造の特徴に興味をもち、各種の気象情報をもとに考察して、課題や疑問を見いだしている。
10月	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生	・宇宙の誕生過程を理解し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりなどの現象について知識を身に付けている。 ・絶対温度Kについて理解している。	・宇宙の始まりの図を用いて、ビッグバンから宇宙の晴れ上がりまでのストーリーを説明することができる。 ・銀河系の構造図から、私たちの住む太陽系がどのくらいの大きさなのか考察することができる。	・宇宙の始まりに関心をもち、現在のすがたに至るまでの過程について意欲的に探究しようとしている。 ・中学で学習した太陽や銀河系の知識をもとに、太陽の活動や銀河系の構造などについて理解を深めようとしている。
11月	第2節 太陽系と地球の誕生	・太陽系を構成する天体の誕生過程や起源などそれぞれの特徴について理解し、知識として身に付けている。 ・天体顕微鏡を用いた木星の観察を行うことによって、衛星が木星のまわりを公転していることを確認することができる。	・太陽系の形成時の位置や質量などの違いと関連させて、地球型惑星と木星型惑星の内部構造の違いについて考察することができる。 ・太陽系の小天体の起源や特徴を比較し、違いを説明することができる。	・中学で学習した太陽系についての知識をもとに、太陽系を構成する天体とその誕生過程に関心をもち、太陽系の成り立ちについて意欲的に学習しようとしている。
12月	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷	・河川の働きと地層の形成を学習して、地層の重なりやかき層による地層の対比について理解し、知識として身に付けている。 ・露頭の写真から、不整合面を確認することができる。	・地層の重なりや観察される特徴、含まれる化石などから、堆積環境や過去の地殻変動について考察することができる。	・地層や堆積岩の形成に関心をもち、堆積環境や過去の地殻変動を調べる方法を意欲的に習得しようとしている。
1月	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	・地球の気候変動やオゾン層の変化について、環境への影響や人間生活とのかかわりを理解し、知識として身に付けている。	・世界の平均気温の変化を調べる実習を行い、計算して求めた上昇率を比較し、地球温暖化が実際におきていることを見いだすことができる。	・地球の気候変動やオゾン層の変化に関心をもち、地球温暖化などの地球の環境変化と人間生活とのかかわりについて理解を深めようとしている。

教科	理科	科目	物理	単位数	5	学年	3	類型	理系
使用教科書		高等学校 物理（啓林館）							
使用副教材		セミナー 物理（第一学習社）							
科目の目標 （学習指導要領）		【科目の目標】（学習指導要領） ○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって観察、実験などを行い、自然現象に対する基本的な原理・法則を理解する。（知識及び技能） ○自然の事物・現象から問題を見出し、その結果を個人でまとめ、他者との意見交換などを通して、より科学的な概念を形成する。（思考力、判断力、表現力等） ○自然を敬い、自然現象に進んで関わり、科学的根拠に基づいて判断する態度を身につけ、日常生活における問題発見や課題解決の場面で活かせる。（学びに向かう力、人間性等）							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習の達成状況を100点法で評価	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○						
小テスト		○	○						
課題等の提出内容					○				
発表・作品制作		○	○		○				
学習に取り組む様子					○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第1節～第2節 (10)	速度の合成・分解などに関する現象を観察し、それぞれを式で表したり、等加速度運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を導くことができる。	変位や速度、加速度の違いを理解してそれぞれの関係を式で表したり、投射された物体の速度を分解してそれぞれの運動の特徴を説明することができる。	平面運動での速度、加速度などを表すベクトル、投射された物体の運動について、物理基礎で学習した内容と関連させながら意欲的に理解しようとする。
5月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第2節～第3節 (15)	力のモーメントのつりあいを理解して剛体の重心を求めたり、運動量保存の法則と反発係数の式を用いて速度や運動量などを計算することができる。	剛体のつりあいや転倒の条件式について力のモーメントのつりあいから調べたり、作用・反作用の法則を用いて運動量保存の法則を考えることができる。	日常生活と関連させて力のモーメントを考えたり、運動量について理解しようとする。運動量保存の法則から物体の合体や分裂を考察しようとする。
6月	第Ⅰ章 運動とエネルギー 第4節～第5節 (20)	等速円運動に関する物理量や慣性力、復元力を考えて式で表したり、分子の運動や状態方程式からさまざまな条件における気体の状態を求めたりできる。	等速円運動における力や単振動のようすの図示、気体の状態変化について、グラフを読み取りや熱力学の第1法則による説明ができる。	遠心力などについて身近な例から万有引力と重力の関係を理解しようとし、日常での経験と照らし合わせて気体の関係式を物理的に考えようとする。
7月	第Ⅱ章 波動 第1節～第2節 (20)	正弦波の式や干渉条件の式を理解し、波の作図などを通して定常波ができる条件を理解している。波の性質を音波に適用し、ドップラー効果を理解できる。	$y-x$ グラフ、 $y-t$ グラフの関係と違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。ドップラー効果を作図によって説明できる。	身のまわりの波動や音波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。
8月	第Ⅱ章 波動 第3節 (15)	光が波の一種であることから、波の性質を利用して各物理量を求めたり物理現象を理解できる。レンズ・球面鏡の式を理解し、一般的な特徴を理解する。	レンズや球面鏡、屈折率の異なる物質中やスリットを通過した光の進み方について、図を用いて説明できる。	光について身のまわりの事象や現象と結びつけ、虹のできるしくみや、青空、夕陽の色の見え方について光と色の関係を意欲的に考えようとする。
9月	第Ⅲ章 電気と磁気 第1節～第2節 (20)	静電気力に関する法則やコンデンサーにおける基本的な公式を理解して各物理量を計算したり、電子の運動からオームの法則などの式を導き計算できる。	導体や不導体について電場や電位の様子をグラフに表したり、キャリアの運動に着目して抵抗や抵抗率との関係やダイオードのしくみを考察できる。	電場や電位の関係、等電位面と電気力線の関係、コンデンサーの原理や静電エネルギーなどをミクロな視点から自ら進んで理解しようとする。
10月	第Ⅲ章 電気と磁気 第3節 (20)	電流が作る磁場の強さ、磁場から電流が受ける力やローレンツ力の大きさや向きなどを、フレミングの左手の法則などを用いて求めることができる。	磁極や電流のまわりになされる磁場について右ねじの法則をもとにして考えたり、ローレンツ力の性質をもとにホール効果について考察できる。	電流が磁場から受ける力の向きや大きさ、磁束密度や磁場の関係、磁場中の荷電粒子の運動やホール効果などについて意欲的に考察しようとする。
11月	第Ⅲ章 電気と磁気 第4節 (20)	さまざまな電磁誘導の現象において、電磁誘導のしくみを理解し、自己誘導、相互誘導での起電力の向きや大きさを導くことができる。	コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。	電磁波の性質から利用されている身近なものを意欲的に考えたり、実験に主体的に取り組む電磁誘導の法則を理解しようとする。
12月	第Ⅳ章 原子 第1節～第2節 (15)	光電効果についての計算やコンプトン効果に関する式の導出、ボーア模型の特徴の理解などができる。素粒子の分類や基本的な力の種類と性質を理解する。	トムソンやミリカンの実験結果などを物理的に考察し、光量子仮説や物質波の概念を踏まえて光電効果やボーア模型を説明できる。	光子や電子の運動を粒子と波動の二重性に結びつけて考えようとする。素粒子と宇宙の進化とのつながりに関心をもち、意欲的に理解しようとしている。
1月	共通テスト対策 (15)	物理基礎及び物理で学習した公式を理解し、適切に利用して基本的な問題を解くことができる。	問題文や図を適切に読み取り、与えられた条件や導くべき値について物理的に考察できる。	物理基礎及び物理で学習した内容を意欲的に復習し、物理的な視点から問題を解こうとする。
2月	二次試験対策 (自由登校期間)	物理基礎及び物理で学習した公式を理解し、適切に利用して応用的な問題を解いたり複雑な計算をすることができる。	問題文や図を適切に読み取り、与えられた条件や導くべき値について物理的に考察し、文章や図を用いて表現できる。	物理基礎及び物理で学習した内容を復習し、複雑な問題に対しても意欲的に物理的な視点をもって解こうとする。
3月				

教科	理科	科目	生物	単位数	5	学年	3	類型	理系
使用教科書	生物（実教出版）								
使用副教材	アクセスノート生物（実教出版）								
科目の目標 （学習指導要領）	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。		生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○	○		○					
小テスト	○	○		○					
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容	○	○		○					
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子				○					
自己評価・相互評価				○					
振り返りカード	○	○		○					
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化のしくみ	実際に確認できない長大なスケールの時間に対しても、対比をすることで概要を把握できる。	DNAの塩基配列に生じる突然変異が、生物の形質にどのような変化をもたらすかを見いだして理解させる。	現生種についての比較形態、比較発生、生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。
5月	生物の系統と進化	現在では系統に基づく視点からの分類法が最も妥当性があるものとして承認されているという事実を理解している。	霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。	生物分類の必要性を理解し、その歴史的な分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。
6月	細胞と分子 生命現象とタンパク質	酵素作用、物質の輸送や情報伝達などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。	生物体にみられるさまざまな働きが、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察できる。	実験から、酵素と最適温度や最適pHの関係を見出そうとする。
7月	代謝	生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。	エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを考察している。	生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。
8月				
9月	遺伝情報とその発現 発生と遺伝子発現	メセルソンとスタールの実験結果とともに、半保存的複製のしくみを理解している。	遺伝子の発現調節のしくみについて、調節遺伝子やプロモーター、転写調節領域などの語句を用いて、一連の流れを説明することができる。	遺伝子発現がどのように調節されているのかを見いだそうとし、自分なりの考えを出すことができる。
10月	遺伝子を扱う技術	電気泳動の原理を理解し、実験によって、設定したDNA断片の長さに応じた適切な泳動結果を得ることができる。	バイオテクノロジーが人類の生活を豊かにすることを理解するとともに、マイナス面についても目を向け、考察し、表現することができる。	バイオテクノロジーについて関心をもち、生活にどのように役立っているのかを知ろうとする。
11月	動物の反応	神経の構造と興奮の発生伝導伝達の関係の学習から、動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。	骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。	眼を中心とした受容器の構造と機能に関心をもって学習し、光量調節や遠近調節などのしくみを説明できる。
12月	動物の行動 植物の成長と環境応答	動物の行動は、刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを理解している。	伸長成長などの現象が巧妙に制御されていること、それらがさまざまな実験によって明らかにされてきたことを理解し、科学的に判断できる。	植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。
1月	個体群と生物群集 生態系	生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。	生態系の構造や働きを、物質循環エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。	生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。
2月				
3月				

教科	理科	科目	化学	単位数	4	学年	3	類型	理系
使用教科書		新編 化学（数研出版）							
使用副教材		新課程 リードLightノート化学（数研出版）							
科目の目標 （学習指導要領）		化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。		化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査		○	○		○				
小テスト		○	○		○				
学習に取り組む様子					○				
課題等の提出内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	固体の構造 (10)	各結晶の特徴について理解する。	単位格子の一边の長さから原子やイオンの半径を求めることができる。	各結晶の性質の違いに興味をもち、深く学ぼうとする。
5月	物質の状態変化 気体 (12)	気液平衡、ボイル・シャルルの法則、理想気体の状態方程式について理解する。	蒸気圧曲線や状態図を読み取ることができる。ボイル・シャルルの法則や理想気体の状態方程式を用いた計算ができる。	物質の状態変化や気体の性質に興味をもち、深く学ぼうとする。
6月	溶液 (10)	溶解平衡や、希薄溶液、コロイド溶液の性質について理解する。	溶解度を用いた計算ができる。希薄溶液の沸点上昇度や凝固点降下度、浸透圧を求めることができる。	身近な溶液やコロイドに興味をもち、深く学ぼうとする。
7月	化学反応とエネルギー 化学反応と速さとしくみ (12)	エンタルピーやヘスの法則、反応速度について理解する。	エンタルピー変化を付した反応式をつくることができる。ヘスの法則を用いた計算ができる。速度定数を求めることができる。	化学反応とエネルギーや化学反応の速さとしくみに興味をもち、深く学ぼうとする。
8月				
9月	化学平衡 非金属元素 (14)	ルシャトリエの原理や電離定数について理解する。非金属元素の性質について理解する。	平衡がどう移動するか判断することができる。水溶液のpHや電離定数を求めることができる。非金属元素の性質についてまとめることができる。	化学平衡や非金属元素の性質に興味をもち、深く学ぼうとする。
10月	金属元素-典型元素- 金属元素-遷移元素- (14)	金属元素の性質や錯イオン、金属イオンの分離について理解する。	金属イオンの混合溶液を分離する方法を説明できる。金属の性質をまとめることができる。	金属元素や金属イオンの性質に興味をもち、深く学ぼうとする。
11月	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 (14)	有機化合物の分類、分析について理解する。脂肪族炭化水素の性質について理解する。	元素分析の結果から組成式を決定することができる。炭化水素を構造式で表すことができる。	身の回りの有機化合物に興味をもち、深く学ぼうとする。
12月	アルコールと関連化合物 芳香族化合物 (14)	官能基の構造、性質について理解する。芳香族化合物の性質について理解する。	官能基をもつ有機化合物や芳香族化合物の構造決定をすることができる。有機化合物を分離する方法を説明することができる。	官能基をもつ有機化合物や芳香族化合物に興味をもち、深く学ぼうとする。
1月	高分子化合物 (12)	高分子化合物の構造、性質について理解する。	高分子化合物の呈色反応や合成反応について説明することができる。	身近な高分子化合物に興味をもち、深く学ぼうとする。
2月				
3月				

教科	生物基礎	科目	生物基礎探究	単位数	2	学年	3	類型	文・文特 選択
使用教科書	大学入学共通テスト 生物基礎の点数が面白いほど取れる本 (KADOKAWA出版)								
使用副教材	なし								
科目の目標 (学習指導要領)	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。		生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。		生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○		○				
小テスト	○		○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容	○		○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性（8）	・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。	・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見だし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。	・生物の共通性を、実験や観察を通して見だし、理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞について、その細胞に含まれる細胞小器官を基に、違いを理解しようとする。
5月	2節 細胞とエネルギー（6）	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。	・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。
6月	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA（8）	・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。	・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。	・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。
7月	2節 遺伝情報とタンパク質の合成（6）	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。	・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。	・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。
9月	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境（6）	・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。	・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。	・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。
10月	2節 体内環境の維持のしくみ（6）	・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。	・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだし理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。	・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解しようとする。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見だし、理解しようとする。
11月	3節 免疫（8）	・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。	・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が働いていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。	・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。
12月	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち（6）	・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。	・資料に基づいて、遷移の要因を見いだし理解することができる。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。	・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。
1月	2節 植生とバイオーム（4）	・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。	・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。	・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。
2月	3節 生態系と生物の多様性（4）	・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。	・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。	・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できる。
3月	4節 生態系のバランスと保全（2）	・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。	・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。	・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。

教科	理科	科目	化学基礎探究	単位数	2	学年	3	類型	文系
使用教科書	大学入学共通テスト 化学基礎の点数が面白いほどとれる本（角川）								
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)	○日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ○観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ○物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念、原理・法則などを理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。		物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○		○				
小テスト	○		○		○				
実技テスト パフォーマンステスト									
発表・作品制作									
課題等の提出内容	○		○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価									
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	・物質の成分 ・物質の構成元素 (6)	混合物と純物質の違い、分離精製法について考えることができる。元素の確認法として炎色反応と沈殿反応を理解する。	ろ過や蒸留の留意点について考えることができる。元素の確認法を実験で確かめ、説明できる。	身のまわりの物がどんな物質でできているかという視点で考えようとする。
5月	・物質の三態 ・原子の構造 ・電子配置 (8)	物質の三態が粒子の熱運動と関わっていることを理解する。原子の大きさや構造について理解する。電子配置と原子の性質の関係について理解する。	物質の三態や状態変化を粒子の熱運動で説明できる。原子番号や質量数について理解し、それらを用いて原子を表すことができる。	熱と物質の三態や状態変化について考えようとする。物質を構成する粒子が原子であることに気づく。
6月	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・物質の分類(9)	電子配置からのイオンの生成、共有結合の形成、分子式や構造式について理解する。自由電子と金属結合の仕組みを理解する。	3つの結合の成り立ちを電子配置と関連づけて説明できる。	身近に使われているイオン結晶、分子結晶、共有結合の結晶、金属の用途や性質を調べ、日常生活や社会に活かそうとする。
7月	・原子量、分子量 ・式量 ・物質質量 ・溶液の濃度(8)	相対質量という考え方を理解し、原子量、分子量、式量のそれぞれが表す値を理解する。モル濃度による濃度の表し方を理解する。	物質1molの意味を説明でき、物質質量と質量や気体の体積の単位変換ができる。質量%濃度とモル濃度の違いを考えることができる。	身近な粒の質量測定から相対質量を考えようとする。実験を通してアボガドロ数を考えようとする。簡単な濃度の調整ができる。
8月				
9月	・化学反応式と量的関係 ・酸、塩基とは ・pH(8)	化学反応式の書き方やそれが表している内容を理解する。酸と塩基の定義、H ⁺ やOH ⁻ とpHの関係を理解する。	化学反応式の係数が表している量的関係を説明できる。酸塩基の価数や電離度と強弱について考察できる。	反応に関わる物質質量の比が反応式の係数比を表していることに気づく。実験を通して身近な酸塩基について考えようとする。
10月	・中和と塩 ・中和滴定 (7)	中和とその量的関係を理解する。中和滴定の器具の使い方と実験操作を理解する。滴定曲線を分析し、適切な指示薬を選択できる。	塩をつくるもとになった酸と塩基およびその強弱を説明できる。中和点が中性になるとは限らないことを説明できる。	実験を通して食酢の濃度を求め、得られた結果を分析して中和の量的関係を理解しようとする。
11月	・酸化、還元とは ・酸化剤と還元剤 (8)	酸化還元反応の仕組みを理解し、酸化剤と還元剤から酸化還元反応のイオン反応式をつくることができる。また、量的関係を理解する。	酸化還元反応のしくみを酸素、水素、電子の授受および酸化数で説明できる。	生活の中の酸化と還元を考えようとする。実験を通して酸化剤と還元剤の働きの違いを調べようとする。
12月	・金属の酸化還元反応 (6)	金属の陽イオンへのなりやすさを比較し、金属の反応性に違いがあることを理解する。	金属と空気、水、酸との反応性の違いを、イオン化傾向と関連づけて考えることができる。	金属の陽イオンへのなりやすさを調べてその関係性を見いだそうとする。
1月	・酸化還元反応の応用 (6)	ダニエル電池のしくみを理解し、実用電池の構造や用途、特徴を知る。	金属のイオン化傾向と電流の流れる向きを比較し、関係性を説明できる。	金属の製錬には酸化還元反応が関わっていることを知ろうとする。
2月				
3月				

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4	学年	1	類型	共通
使用教科書	Grove English Communication I (文英堂)								
使用副教材	Grove English Communication I フィルインノート、ワークブック								
科目の目標 (学習指導要領)	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト			○						
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価	○				○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Lesson 1 Communication with People Around the World	[文型・文法事項] 主部と述部 / 「S+V」 「S+V+C」 「S+V+O」 / 現在・過去・未来を理解 して、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	日常表現におけるしぐさ について知り、よいコ ミュニケーションのため に何が必要であるかを理 解する。	コミュニケーションにつ いて他社と意見を交換し たり、わかりやすく説明 しようとしている。
5月	Lesson 1 One Step Further	自分のことについて書い たり、話したりすること ができる。	レッスン1で学習したコ ミュニケーションの大切 さを理解し、自分を表現 する。	相手に伝わりやすいよう に自己紹介しようとして いる。
	Lesson 2 Pets and Humans: Together Through Time	[文型・文法事項] 名詞句 / to不定詞(名詞 的用法) / 動名詞を理解 して、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	人気のあるペットにつ いて知り、長い歴史にお ける人間とペットの関係 の変化について理解する。	ペットや動物について相 手にわかりやすいように 説明したり、意見を交換 しようとしている。
6月	Lesson 2 One Step Further	ペットショップの宣伝文 と読者のコメントを読 み、理解することができる。	ネット広告から情報を読 み取り、読み取った情報 について意見を交換する ことができる。	本文の内容に関して、他 者と積極的に意見を交換 しようとしている。
	Lesson 3 Musubi-Ties and Knots	[文型・文法事項] 「S+V+O1+O2」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を理 解して、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したりす ることができる。	日常のさまざまなシー ンにおける結びについて知 り、古来、日本人が結 びに込めたさまざまな願 いについて理解する。	結びについて意見を交換 したり、意味を説明し たりしようとする。
	Lesson 3 One Step Further	日本のみやげ品につ いての記事を読み、理解 することができる。	記事から必要な情報を読 み取り、みやげ品につ いて相手に紹介する ことができる。	日本のみやげ品につ いて相手にわかりやす いように紹介しよう としている。
7月	Lesson 4 The power of Mushrooms	[文型・文法事項] 「S+V+O1+O2」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を 理解して、聞いたり、読 んだり、書いたり、話 したりすることができる。	キノコを用いたいろ いろな料理について知 り、自然界においてキノ コが果たす役割につ いて理解する。	日本の森やキノコにつ いて学んだことを他 者と積極的に意見を 交換しようとして いる。
	Lesson 4 One Step Further	音声を聞き、内容を理 解することができる。	音声から内容を聞き取 り、質問に答えること ができる。	音声から必要な情報 を聞き取ろうとして いる。
8月				
9月	Lesson 5 Braille Neue: Connecting Dots with Lines	[文型・文法事項] 受け身 / 分詞の形容詞 的用法 / 助動詞を含む 受け身 / to不定詞(形容 詞的用法)を理解して、 聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	日常生活で見られる 点字等の工夫につ いて知り、点字と デザインについて読 み取ることができる。	デザインについて他 者と意見を交換し たり、インタビュー に答えたりしよう としている。
	Lesson 5 One Step Further	ブラインドサッカー 体験教室の募集チ ラシについて理 解することができる。	チラシから必要な 情報を読み取り、 ブラインドサッ カーについて書 いたり、他者と 話し合うこと ができる。	ブラインドサッ カーについて積 極的に学ぼう としている。

10月	Lesson 6 Is This Meat Real or Fake?	[文型・文法事項] 関係代名詞 (主格) / to不定詞 (副詞的用法) / 関係代名詞 (目的格) / 関係代名詞 what を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	日本人の好きな代表的な料理について知り、食糧問題や環境問題を解決するために代替肉の果たす役割について理解する。	食料品生産の新しい技術について意見を交換したり、インタビューに答えたりしようとしている。
	Lesson 6 One Step Further	仮想水(virtual water)について理解することができる。	仮想水について、意見を交換したり、書いたりすることができる。	仮想水について積極的に学ぼうとしている。
11月	Lesson 7 Plastic Polluting Our Oceans	[文型・文法事項] 比較 / 「It is+~ (for ~) + to不定詞」 / 「S+V+01+02 (=that節) / 「S+V+0+to不定詞」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	日本のペットボトルの年間出荷本数の推移について知り、プラスチックごみが海や海洋生物に与える環境について理解する。	プラスチックごみが環境に与える影響について他者と意見を交換しようとしている。
	Lesson 7 One Step Further	食品ロスについてのポスターを読んで理解することができる。	食品ロス削減のために何ができるかを考え、意見を交換することができる。	食品ロスについて自ら考え、理解しようとしている。
12月	Lesson 8 Manga:A Global Hit!	[文型・文法事項] 「S+V+0+ C(=原形不定詞)」 / 「It is+形容詞 [名詞] +that節」 / 「S+V+0(=疑問詞節など)」 / 「S+V+0+C(=現在分詞)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	マンガで用いられる独特な表現について知り、世界に広がる日本のマンガ文化について理解する。	マンガについて他者と意見を交換したり、積極的に会話をしようとしている。
1月	Lesson 8 One Step Further	音声を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	本文の内容を理解し、本文に関して相手と会話することができる。	積極的に会話をしようとしている。
	Lesson 9 The Mysteries and Secrets of Petra	[文型・文法事項] 関係副詞 (when, where) / 関係副詞 (why, how) / 仮定法過去 / 完了進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	諸外国の文化の側面を知り、ペトラ遺跡の歴史・文化について理解する。	ペトラ遺跡の謎について他者と意見を交換しようとしている。
2月	Lesson 9 One Step Further	屋久島についての観光サイトをみて、内容を理解することができる。	他者と協力して、例のような観光紹介サイトを作成し、紹介することができる。	作成した観光紹介サイトについて、相手に伝わりやすいように発表しようとしている。
	Lesson 10 Greta Thunberg:No One Is Too Small to Make a Difference	[文型・文法事項] 仮定法過去完了 / 強調構文 / 分詞構文 / 「S+V+01+ 02(=疑問詞節など)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	家庭からの二酸化炭素排出量の内訳を知り、グレタ・トゥーンベリさんの行動と主張について理解する。	環境を守るための活動などについて他者と意見を交換しようとしている。
3月	Lesson 10 One Step Further	SDGsに関して、理解する。	SDGsについて理解し、目標を達成するための問題点、解決策、考えることができる。	SDGsに関して、自分たちにできることを積極的に考えようとしている。

教科	英語	科目	英語論理表現Ⅰ	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	My Way Logic and Expression 1 (三省堂)								
使用副教材	FactBook WorkBook Core								
科目の目標 (学習指導要領)	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用する技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概念や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身に付けている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト			○						
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価	○				○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Lesson 1 Communication with People Around the World	[文型・文法事項] 主部と述部 / 「S+V」 「S+V+C」 「S+V+O」 / 現 在・過去・未来を理解し て、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	日常表現におけるしぐさ について知り、よいコ ミュニケーションのため に何が必要であるかを理 解する。	コミュニケーションにつ いて他社と意見を交換し たり、わかりやすく説明 しようとしている。
5月	Lesson 1 One Step Further	自分のことについて書い たり、話したりすること ができる。	レッスン1で学習したコ ミュニケーションの大切 さを理解し、自分を表現 する。	相手に伝わりやすいよう に自己紹介しようとして いる。
	Lesson 2 Pets and Humans: Together Through Time	[文型・文法事項] 名詞句 / to不定詞(名詞 的用法) / 動名詞を理解 して、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	人気のあるペットにつ いて知り、長い歴史にお ける人間とペットの関係 の変化について理解する。	ペットや動物について相 手にわかりやすいように 説明したり、意見を交換 しようとしている。
6月	Lesson 2 One Step Further	ペットショップの宣伝文 と読者のコメントを読 み、理解することができる。	ネット広告から情報を読 み取り、読み取った情報 について意見を交換する ことができる。	本文の内容に関して、他 者と積極的に意見を交換 しようとしている。
	Lesson 3 Musubi-Ties and Knots	[文型・文法事項] 「S+V+O1+O2」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を理 解して、聞いたり、読んだり、 書いたり、話したりす ることができる。	日常のさまざまなシー ンにおける結びについて 知り、古来、日本人が結 びに込めたさまざまな願 いについて理解する。	結びについて意見を交換 したり、意味を説明し たりしようとする。
	Lesson 3 One Step Further	日本のみやげ品につ いての記事を読み、理解 することができる。	記事から必要な情報を読 み取り、みやげ品につ いて相手に紹介する ことができる。	日本のみやげ品につ いて相手にわかりやす いように紹介しよう としている。
7月	Lesson 4 The power of Mushrooms	[文型・文法事項] 「S+V+O1+O2」 / 「S+V+O+C」 / 進行形を 理解して、聞いたり、読 んだり、書いたり、話 したりすることができる。	キノコを用いたいろ いろな料理について知 り、自然界においてキノ コが果たす役割につ いて理解する。	日本の森やキノコにつ いて学んだことを他 者と積極的に意見を交 換しようとしている。
	Lesson 4 One Step Further	音声を聞き、内容を理 解することができる。	音声から内容を聞き取 り、質問に答えること ができる。	音声から必要な情報 を聞き取ろうとして いる。
8月				
9月	Lesson 5 Braille Neue: Connecting Dots with Lines	[文型・文法事項] 受け身 / 分詞の形容詞 的用法 / 助動詞を含む 受け身 / to不定詞(形容 詞的用法)を理解して、 聞いたり、読んだり、 書いたり、話したり することができる。	日常生活で見られる 点字等の工夫につ いて知り、点字と デザインについて読 み取ることができる。	デザインについて他 者と意見を交換し たり、インタビュー に答えたりしよ うとしている。
	Lesson 5 One Step Further	ブラインドサッカー体 験教室の募集チラシに ついて理解すること ができる。	チラシから必要な 情報を読み取り、 ブラインドサッ カーについて書 いたり、他者と 話し合うこと ができる。	ブラインドサッ カーにつ いて積極 的に学ぼう として いる。

10月	Lesson 6 Is This Meat Real or Fake?	[文型・文法事項] 関係代名詞(主格) / to不定詞(副詞的用法) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	日本人の好きな代表的な料理について知り、食糧問題や環境問題を解決するために代替肉の果たす役割について理解する。	食料品生産の新しい技術について意見を交換したり、インタビューに答えたりしようとしている。
	Lesson 6 One Step Further	仮想水(virtual water)について理解することができる。	仮想水について、意見を交換したり、書いたりすることができる。	仮想水について積極的に学ぼうとしている。
11月	Lesson 7 Plastic Polluting Our Oceans	[文型・文法事項] 比較 / 「It is+~ (for ~) + to不定詞」 / 「S+V+01+02 (=that節) / 「S+V+0+to不定詞」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	日本のペットボトルの年間出荷本数の推移について知り、プラスチックごみが海や海洋生物に与える環境について理解する。	プラスチックごみが環境に与える影響について他者と意見を交換しようとしている。
	Lesson 7 One Step Further	食品ロスについてのポスターを読んで理解することができる。	食品ロス削減のために何ができるかを考え、意見を交換することができる。	食品ロスについて自ら考え、理解しようとしている。
12月	Lesson 8 Manga: A Global Hit!	[文型・文法事項] 「S+V+0+ C(=原形不定詞)」 / 「It is+形容詞[名詞]+that節」 / 「S+V+0(=疑問詞節など)」 / 「S+V+0+C(=現在分詞)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	マンガで用いられる独特な表現について知り、世界に広がる日本のマンガ文化について理解する。	マンガについて他者と意見を交換したり、積極的に会話をしようとしている。
1月	Lesson 8 One Step Further	音声を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	本文の内容を理解し、本文に関して相手と会話することができる。	積極的に会話をしようとしている。
	Lesson 9 The Mysteries and Secrets of Petra	[文型・文法事項] 関係副詞(when, where) / 関係副詞(why, how) / 仮定法過去 / 完了進行形を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	諸外国の文化の側面を知り、ペトラ遺跡の歴史・文化について理解する。	ペトラ遺跡の謎について他者と意見を交換しようとしている。
2月	Lesson 9 One Step Further	屋久島についての観光サイトをみて、内容を理解することができる。	他者と協力して、例のような観光紹介サイトを作成し、紹介することができる。	作成した観光紹介サイトについて、相手に伝わりやすいように発表しようとしている。
	Lesson 10 Greta Thunberg: No One Is Too Small to Make a Difference	[文型・文法事項] 仮定法過去完了 / 強調構文 / 分詞構文 / 「S+V+01+ 02(=疑問詞節など)」を理解して、聞いたり、読んだり、書いたり、話したりする。	家庭からの二酸化炭素排出量の内訳を知り、グレタ・トゥーンベリさんの行動と主張について理解する。	環境を守るための活動などについて他者と意見を交換しようとしている。
3月	Lesson 10 One Step Further	SDGsに関して、理解する。	SDGsについて理解し、目標を達成するための問題点、解決策、考えることができる。	SDGsに関して、自分たちができることを積極的に考えようとしている。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	学年	2	類型	文・文特・理
使用教科書	MY WAY English Communication I（三省堂）								
使用副教材									
科目の目標 （学習指導要領）	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の（1）及び（2）に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の（3）に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○		○		○				
実技テスト パフォーマンステスト			○		○				
発表・作品制作			○		○				
課題等の提出内容			○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価	○				○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Lesson 1 Dances Around the World	世界各地のさまざまなダンスについて、理解して考えを深めることができる。	紹介したい日本の踊りについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。	日本の踊りについて、詳しく伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。
5月	Lesson 2 Katsura Sunshine— Making the World Laugh	桂三輝さんの落語についての考え方や取り組み方について、理解して考えを深めることができる。	日本文化について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	日本文化について、グループで話し合った内容を基に詳しく伝えようとしている。
6月	Lesson 3 Living with Nature—Takita Asuka's Journey	滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について、理解して考えを深めることができる。	絶滅の危機にある動植物の現状について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	絶滅の危機にある動植物の現状について、考えを詳しく伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。
7月	Lesson 4 To Sesame Street	『セサミストリート』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。	サミストリートのキャラクターについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。	紹介したいキャラクターについて、その特徴的な行動など詳しく伝えようとしている。
8月				
9月	Lesson 5 From Landmines to Herbs	篠田ちひろさんのカンボジアでの活動について、理解して考えを深めることができる。	参加してみたい国際ボランティア活動について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	選んだボランティア活動について、その内容や効果を、グループで話し合った内容を基に伝えようとしている。

10月	Lesson 6 Murals —The Power of Public Art	世界中の壁画プロジェクトについて、理解して考えを深めることができる。	創立記念行事で校舎の外壁に描きたい絵について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	創立記念行事で校舎の外壁に描きたい絵について、主体的に考えを詳しく伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。
11月	Lesson 7 “Englishes” in the World	世界のさまざまな英語について、理解して考えを深めることができる。	楽しみながらできる英語の学習方法について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	紹介したい英語の学習方法について、その効果や利点などを、グループで話し合った内容を基に詳しく伝えようとしている。
12月	Lesson 8 Deepika Kurup —The Science Behind Clean Water	世界の水問題とその解決のための取り組みについて、理解して考えを深めることができる。	社会問題に取り組む発明家や起業家について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	社会問題に取り組む発明家や起業家について、考えを詳しく伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。
1月	Lesson 9 The World’s Poorest President	ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について、理解して考えを深めることができる。	幸せを感じるタイミングについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。	幸せを感じるタイミングについて、詳しく話して伝えようとしている。
2月	Lesson 10 Living in an E- Society—The Pros and Cons	eスポーツや電子書籍の長所と短所について、理解して考えを深めることができる。	eスポーツや電子書籍の長所と短所について、グループで情報を整理し、議論することができる。	eスポーツや電子書籍の長所と短所について、考えを詳しく伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。
3月	Reading 2 Syria’s Secret Library	内戦下シリアの秘密図書館についての物語について、理解して考えを深めることができる。	物語の登場人物にとって本や図書館はどのような存在だったのかについて、話し合うことができる。	物語を読んで、文章の展開を把握し、概要や要点、詳細を捉えようとしている。

教科	外国語（英語）	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	2	類型	文系
使用教科書	APPLAUSE English Logic and ExpressionⅡ（開隆堂）								
使用副教材									
科目の目標 （学習指導要領）	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の（1）及び（2）に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の（3）に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。		知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト									
実技テスト パフォーマンステスト			○		○				
発表・作品制作	○		○		○				
課題等の提出内容			○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価									
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Lesson 1 Reflections Before Starting a New Life	現在と過去を表す文や進行形の用法を理解している。 現在と過去を表す文や進行形の用法の理解をもとに、自分や友だちの興味・関心について紹介する技能を身につけている。	自分や友だちの興味・関心について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	自分や友だちの興味・関心について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に伝えようとしている。
5月	Lesson 2 Let Your Dreams Come True	未来を表す文を理解している。 未来を表す文の理解をもとに、自分の将来の計画や夢について紹介する技能を身につけている。	自分の将来の計画や夢について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	自分の将来の計画や夢について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に伝えようとしている。
6月	Lesson 3 Dos and Don'ts in Social Media	助動詞を使った文を理解している。 助動詞を使った文の理解をもとに、SNSの使い方についての的確に表現する技能を身につけている。	SNSの使い方について、話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。	SNSの使い方について、ペアやグループでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手に伝えようとしている。
	Lesson 4 Future Prospects	完了形を使った文を理解している。 完了形を使った文の理解をもとに、将来予測される事柄について表現する技能を身につけている。	将来予測される事柄について、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	将来予測される事柄について、自分の考えを聞き手に伝えようとしている。
7月	Lesson 5 Let's Keep in Good Shape	受動態を使った文を理解している。 受動態を使った文の理解をもとに、健康によいと言われている行動について表現する技能を身につけている。	健康によいと言われている行動について、自分たちの考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝えている。	健康によいと言われている行動について、ペアでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、聞き手に伝えようとしている。
8月				
9月	Lesson 6 Energy Consumptions in the World	比較級、最上級を使った文を理解している。 比較級、最上級を使った文の理解をもとに、世界のエネルギー消費の実態について、データからわかることを表現する技能を身につけている。	世界のエネルギー消費の実態について、問題点も含め、自分たちの考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝えている。	世界のエネルギー消費の実態について、グループでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、聞き手に伝えようとしている。
	Lesson 7 Voter Turnout in Comparison	同等比較、倍数比較を使った文を理解している。 同等比較、倍数比較を使った文の理解をもとに、投票率の違い等データからわかることを表現する技能を身につけている。	日本の投票率について、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手にわかりやすく伝えている。	日本の投票率について、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手に伝えようとしている。
10月	Lesson 8 What Has Impressed Me the Most	動名詞を使った文を理解している。 動名詞を使った文の理解をもとに、これまでに感銘を受けた人物や本などについて紹介する技能を身につけている。	これまでに感銘を受けた人物や本などについて、自分の考えをまとめ、読み手にわかりやすく伝わるようなポスターを作成している。	これまでに感銘を受けた人物や本などについて、自分の考えをまとめ、それをもとに読み手にわかりやすく伝えようとしている。
	Lesson 9 Sports for Everybody	to不定詞を使った文を理解している。 to不定詞を使った文の理解をもとに、年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツについて紹介する技能を身につけている。	年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツについてクラスで紹介するために、自分たちの考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツについてクラスで紹介するために、自分たちの考えを聞き手に伝えようとしている。
11月	Lesson 10 The Latest News from around the World	分詞を使った文を理解している。 分詞を使った文の理解をもとに、ニュースについての的確に説明する技能を身につけている。	ニュースについて、インターネット等で情報を集めながら的確に説明している。	ニュースについて、インターネット等で情報を集めながら、ニュース番組を作成し、的確に説明しようとしている。
12月	Lesson 11 Let's Find Out What We Can Do for Others	関係代名詞を使った文を理解している。 関係代名詞を使った文の理解をもとに、国内外で必要とされているボランティア活動について表現する技能を身につけている。	読み手の関心をひくような広告を作成し、情報をわかりやすく伝えている。	ボランティア活動への参加者を募るために、読み手の関心をひくような広告を作成し、情報を伝えようとしている。
1月	Lesson 12 Learn about Other Countries and People	関係副詞を使った文を理解している。 関係副詞を使った文の理解をもとに、将来住みたい場所について、その魅力が伝わるように説明する技能を身につけている。	将来住みたい場所についてのその魅力が伝わるように、聞き手にわかりやすく説明している。	将来住みたい場所についてその魅力が伝わるように、聞き手に説明しようとしている。
2月	Lesson 13 Global Issues	仮定法を使った文を理解している。 仮定法を使った文の理解をもとに、環境問題や社会問題、その解決方法を的確に説明する技能を身につけている。	環境問題や社会問題を解決する方法についての自分の考えを聞き手に的確に伝えている。	環境問題や社会問題を解決する方法についての自分の考えを聞き手に的確に伝えようとしている。
3月	Lesson 14 Food Culture around the World	無生物主語や強調構文を使った文を理解している。 無生物主語や強調構文を使った文の理解をもとに、さまざまな国の食文化について、表現する技能を身につけている。	さまざまな国の食文化について、グループ活動をとおり自分たちの考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	さまざまな国の食文化について、グループ活動をとおり自分たちの考えを聞き手に伝えようとしている。

教科	英語	科目	英語CⅢ	単位数	4	学年	3	類型	共通
使用教科書	Vivid English Communication III（第一学習社）								
使用副教材	Vivid English Communication III 予習・授業ノート Vivid English Communication III WORKBOOK								
科目の目標 （学習指導要領）	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の（1）及び（2）に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の（3）に示す資質・能力を育成する。 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
課題等の提出内容					○				
発表・作品制作			○		○				
学習に取り組む様子					○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Lesson 1	句読法、意味のまとまりに注意して、英文を理解することができる。	クオッカの特徴について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、クオッカについて知りたいことを詳しく伝えようとしている。
	Lesson 2	指示語の指す内容に注意して、英文を理解することができる。	ギタンジャリ・ラオさんの取り組みについて理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、ギタンジャリ・ラオさんに発明してほしいものを詳しく伝えようとしている。
	Lesson 3	つながりの語句（例示）に注意して、英文を理解することができる。	エシカル消費について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、エシカルな消費者になるためにできることを詳しく伝えようとしている。
5月	Lesson 4	つながりの語句（原因・結果）に注意して、英文を理解することができる。	ラグビー日本代表チームの多様性と結束について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、多様性のあるチームをまとめるために自分なら何をするか詳しく伝えようとしている。
	Lesson 5	つながりの語句（対比・対照）に注意して、英文を理解することができる。	『雪国』の原作と英訳の表現の違いについて理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、『雪国』の原作と英訳のどちらを読みたいか詳しく伝えようとしている。
	Lesson 6	つながりの語句（列挙）に注意して、英文を理解することができる。	VR技術の応用について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、学生生活でVR技術をどのように使いたいか詳しく伝えようとしている。
6月	Lesson 7	つながりの語句（追加）に注意して、英文を理解することができる。	人の行動を変える仕掛けについて理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、仕掛けの効果について詳しく伝えようとしている。
	Lesson 8	主題文と支持文に注意して、英文を理解することができる。	天然痘の根絶について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、コロナ禍で学んだことについて詳しく伝えようとしている。
	Lesson 9	未知語の意味を推測しながら、英文を理解することができる。	ウォーターフットプリントについて理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、ウォーターフットプリントについて表から読み取ったことを詳しく伝えようとしている。
7月	Lesson 10	事実と意見を区別しながら、英文を理解することができる。	異常気象の増加について理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手や読み手に配慮して、地球温暖化対策について詳しく伝えようとしている。
	Lesson 11	前の文・節・句全体を先行詞とする関係代名詞whichについて理解を深め、適切に活用することができる。	三代達也さんの生き方や考え方についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、自分の人生に影響を与えた人物について詳しく話そうとしている。

9月	Lesson 12	文修飾副詞について理解を深め、適切に活用することができる。	小田兼利さんの水質浄化剤を使った途上国支援についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	読み手に配慮して、途上国支援において重要なことについて、自分の考えを詳しく書くようとしている。
	Lesson 13	名詞構文について理解を深め、適切に活用することができる。	長谷川町子さんが『サザエさん』で描いた人物像についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	ストーリーに合うように、『サザエさん』のセリフを考えて演じようとしている。
10月	Lesson 14	分詞構文について理解を深め、適切に活用することができる。	電子ごみ問題に対する長坂真護さんの取り組みについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、電子ごみ問題を解決する方法について詳しく話そうとしている。
	Lesson 15	比較の対象の省略について理解を深め、適切に活用することができる。	アイスランドにおける男女平等の実現についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、日本での女性の活躍を促進する方法について詳しく話そうとしている。
11月	Lesson 16	文章の展開に注意して、英文を理解することができる。	魚の乱獲の問題の原因と解決策についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、ニュースとインタビューの内容について自分の考えを詳しく話そうとしている。
	Lesson 17	展開や構成に注意して、論理的に複数のパラグラフを書くことができる。	日米親善のソフトボールの試合の実現についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	読み手に配慮して、戦争のない世界を作るためにできることについて論理的に詳しく書くようとしている。
12月	Lesson 18	会話を発展させるスキルを理解して、円滑にコミュニケーションをすることができる。	中村医師のパキスタンとアフガニスタンでの支援活動についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、海外で支援活動を行う日本人について詳しく話そうとしている。
1月	Lesson 19	場面や英文の形式に応じてその特徴を理解し、必要な情報を聞き取ることができる。	フードテックの活用についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	読み手に配慮して、プレゼンテーションとインタビューの内容について詳しくレポートを書くようとしている。
	Lesson 20	資料の作り方や発表の仕方を工夫して、効果的にプレゼンテーションをすることができる。	世界の諸問題とSDGsに関連した取り組みについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。	聞き手に配慮して、SDGsの目標の1つについて詳しく話そうとしている。

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2	学年	3	類型	文
使用教科書	be English Logic and ExpressionⅡ Clear (いわずな書店)								
使用副教材	be English Logic and ExpressionⅡ My English Portfolio be English Logic and ExpressionⅡ Grammar Book								
科目の目標 (学習指導要領)	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。		知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト			○		○				
発表・作品制作	○		○						
課題等の提出内容			○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価									
振り返りカード			○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	LESSON 4 Media Literacy	＜知識＞分詞の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞分詞を用いて、書く技能を身につけている。	ソーシャルメディアの投稿内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	ソーシャルメディアの注意点についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
5月	LESSON 5 Helping Others	＜知識＞形容詞句の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞形容詞句を用いて、書く技能を身につけている。	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	ボランティア活動についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
6月	LESSON 6 Introducing Your Town	＜知識＞関係代名詞の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞関係代名詞や関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。	自分の町の紹介文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	自分の町の紹介文についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
7月	LESSON 7 Languages of the World	＜知識＞副詞の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞副詞を用いて、書く技能を身につけている。	与えられた表から読み取れることについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。	消滅の危機にある言語についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
8月				
9月	LESSON 8 Imagining the Future	＜知識＞副詞句の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞副詞句を用いて、書く技能を身につけている。	未来の生活についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	未来の生活についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	LESSON 9 Happiness and Stress	＜知識＞副詞節の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞副詞節を用いて、書く技能を身につけている。	ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書くことができる。	ストレス解消について、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
10月	LESSON 10 Comparing Countries	＜知識＞比較表現の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞比較表現を用いて、書く技能を身につけている。	データから考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	データから考えたことについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	LESSON 11 Cultural Diversity	＜知識＞仮定法の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて仮定法を用いて、書く技能を身につけている。	過去の出来事が変わっていたらどうなっていたかについて、筋道を立てて詳しく書くことができる。	世界の問題に対する解決策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
11月	LESSON 12 Japanese Customs	＜知識＞話法の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞話法を用いて、書く技能を身につけている。	日本の慣習の変化についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	日本の慣習の変化についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	LESSON 13 Population Issues	＜知識＞存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞存在や変化を表す表現を用いて、書く技能を身につけている。	不妊治療や少子化対策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	不妊治療や少子化対策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
12月	LESSON 14 Rights and Equality	＜知識＞使役動詞や知覚動詞などの意味や働きについて理解している。 ＜技能＞使役動詞や知覚動詞などを用いて、書く技能を身につけている。	人権問題の改善策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	人権問題の改善策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
1月	LESSON 15 Think Globally, Act Locally	＜知識＞英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。 ＜技能＞英語らしい表現方法を用いて、書く技能を身につけている。	SDGsの目標達成についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	SDGsの目標達成についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。

教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2	学年	3	類型	文系特進 理系
使用教科書	English Logic and Expression Ⅲ be clear (いっずな書店)								
使用副教材	be English Logic and ExpressionⅢ My English Portfolio be English Logic and ExpressionⅡ Grammar Book (継続使用)								
科目の目標 (学習指導要領)	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。		知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト			○		○				
発表・作品制作	○		○						
課題等の提出内容			○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価									

【年間計画】 ※これは予定です。適宜受験対策演習等を行います。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	L1 A City Worth Visiting	・動詞や助動詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、正しい英語で街を紹介する。	私たちが暮らす社会について、その未来をどうしたらよりよいものにできるかを考え、論理的に詳しく話したり伝え合ったり、表現したりすることができる。	・活動の観察 ・課題等の提出状況
5月	L2 Our Hometowns			・活動の観察 ・課題等の提出状況
6月	L3 What Makes a City Attractive?			・活動の観察 ・課題等の提出状況
7月	L4 How Do You Spend Your Time?	形容詞や副詞を適切に用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、正しい英語で書くことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを考え、論理的に詳しく話したり伝え合ったり、表現したりすることができる。	・活動の観察 ・課題等の提出状況
8月	夏季休業課題			・活動の観察 ・プレゼンテーション
9月	L5 Trying Something New	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、正しい英語で書くことができる。	余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、自分らしく豊かな生活を送るためにはどうしたらよいのかを考え、論理的に詳しく話したり伝え合ったり、表現したりすることができる。	・活動の観察 ・課題等の提出状況
	L6 The Art of Translation			
10月	L7 Combatting Climate Change	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを、正しい英語で書くことができる。	気候、環境、エネルギーなどの課題について、未来のために今の私たちにできることを考え、論理的に詳しく話したり伝え合ったり、表現したりすることができる。	・活動の観察 ・課題等の提出状況
11月	L8 Future Energy Sources			・活動の観察 ・課題等の提出状況
12月	L9 Discussing the Environment			・活動の観察 ・課題等の提出状況 ・プレゼンテーション
1月	L10 Globalization and Immigration	不定詞と動名詞を適切に用いて、世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて、正しい英語で書いたり話したりすることができる。	世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかを考え、論理的に詳しく話したり伝え合ったり、表現したりすることができる。	・活動の観察 ・課題等の提出状況 ・ディスカッション

教科	英語	科目名	英語探究	学年	3	単位数	2	類型	一般文系選択者 文系特進全員
使用教科書	「Reading Explorer 1A THIRD EDITION」(National Geographic Learning)								
使用副教材	特になし								
履修にあたっての 科目選択の心がまえ (講座選択条件)	・現代社会に関するトピックについて英語で読み、理解を深める。 ・現代社会に関するトピックについて主体的に考え、英語で意見を述べる。 ・英語で読んだ内容に関連し、自らの生き方について考えを深める。								
科目の内容 (進路傾向も含む)	・洋書のテキストを主体的に読み進める英語読解力を養成する。 ・現代社会のトピックについて、広い視野で考える態度を育てる。 ・大学入試に対応し、進学後にも生きる英語力を養成する。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	聞くこと(L):現代社会や専門分野に関するトピックについて説明された内容について、その内容を理解できる。 読むこと(R):現代社会に関する多様なトピックについてかかれた長めの英文(600words程度)を一読し、文章の概要や重要箇所、展開や構成などを判断できる。		書くこと(W):現代社会に関するトピックに関して、複数の理由や例を含めて考えを構成し、論理的に説明できる。		話すこと[発表](SP):現代社会に関するトピックについて、理由や例を示しながら自分の考えを説明できる。 話すこと[やりとり](SI):現代社会に関するトピックについて、問われた質問に詳しく答えられる。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○		○				
小テスト									
パフォーマンス	○		○		○				
発表・作品制作	○		○		○				
ワークシート等の提出 内容	○		○		○				
レポートの提出内容									
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	Unit1 Amazing Animals	・英文の主題・概要について読み取る。(スキミング) ・接尾辞および語形変化について理解する。	・様々なイルカやタコなどの海洋生物に関する説明文を読んだり聞いたりしたことをもとに、自分の考えとその理由を書いて伝えることができる。	・主題について批判的に考え、自分の考えに反映する。
5月				
6月	Unit2 Travel and Adventure	・英文の中から必要な情報を探し出す。(スキミング) ・名詞・動詞双方に用いられる語、語のコロケーションについて理解する。(1)	北米やポリネシアなどの旅や発見に関する説明文を読んだり聞いたりしたことをもとに、人におすすめの場所を話して伝えることができる。	・図と英文の情報を統合して理解し、自分の考えに反映する。
7月				
9月	Unit3 The Power of Music	・英文の中から詳細な情報や理由の説明を探し出す。 ・接尾辞、語のコロケーションについて理解する。(1)	音楽が身体や心にもたらす様々な効果に関する説明文を読んだり聞いたりしたことをもとに、その効果に関する自らの体験を書いて伝えることができる。	・得た情報を自分の経験に関連させて考える。
10月				
11月	Unit4 Into Space	・コンセプトマップを使い文章の内容をまとめる。 - 接尾辞、語のコロケーションについて理解する。(2)	宇宙における生命の可能性に関する説明文を読んだり聞いたりしたことをもとに、宇宙での生活を想像し書いて伝えることができる。	・得た情報をに関して考えを深め優先順位について考える。
12月				
1月	Unit5 City Life	・図やグラフと英文の内容を統合し情報をまとめる。 ・接尾辞、語のコロケーションについて理解する。(3)	様々な動植物に関する説明文を読んだり聞いたりしたことをもとに、科学プロジェクトを計画し、その概要を話して伝えることができる。	・得た情報について、賛成または反対の意見を述べる。

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年	1	類型	共通
使用教科書									
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするともに、健康・安全を確保している。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
スキルテスト		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子		○	○		○				
振り返りカード		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
5月	球技 ソフトボール バレーボール ソフトテニス パンポン	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
6月				
7月	水泳	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。	泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。
9月				
10月	球技 ソフトボール バレーボール サッカー ソフトテニス パンポン	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
11月	陸上競技 長距離走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
12月				
1月	球技 ソフトテニス パンポン サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
2月				
3月				

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	1	類型	共通
使用教科書	現代高等保健体育								
使用副教材	現代高等保健体育ノート								
科目の目標 (学習指導要領)	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価	学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価		学習評価結果のA B Cを数値に置き換えて評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
定期考査	○								
小テスト	○								
学習ノートの提出内容		○							
学習に取り組む様子	○	○		○					
振り返りカード	○	○							

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	国民の健康課題や健康の考え方は変わってきていること、健康は主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。	健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスク軽減、生活の質の向上などと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それを説明している。	健康の考え方についての学習に自主的に取り組もうとしている。
5月	現代社会と健康 生活習慣病の予防と回復 がんの予防と回復	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスクの軽減などと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	生活習慣病、がんの予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
6月	現代社会と健康 がんの予防と回復 運動・食事と健康	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスクの軽減などと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	がんの予防と回復についてや、運動・食事と健康の学習に自主的に取り組もうとしている。
7月	現代社会と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	生活習慣病、喫煙と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスクの軽減などと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	休養・睡眠と健康についてや、喫煙と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
9月	現代社会と健康 飲酒・薬物乱用と健康	飲酒は生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことや個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスクの軽減などと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	飲酒、薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
10月	現代社会と健康 精神疾患の予防と回復	精神疾患の予防と回復には運動・食事・休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。	精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減などと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	精神疾患の予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
11月	現代社会と健康 感染症の予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には個人の取組及び社会的な対策が必要であることを理解している。	感染症の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減などと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明している。	感染症の予防と回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
12月	現代社会と健康 健康に関する意思決定 行動選択・環境づくり	健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方、適切な意思決定や行動選択、自らの健康を適切に管理することは必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解している。	健康の保持増進に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスク軽減、生活の質の向上、環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それを説明している。	健康の保持増進に必要な意思決定や行動選択、環境づくりについての学習に自主的に取り組もうとしている。
1月	安全な社会生活 事故の現状 安全な社会の形成 交通における安全	安全な社会づくりには、環境の整備と個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、安全な運転、自他の生命を尊重する態度が必要であることを理解している。	安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測をもとに、危険を回避する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	安全な社会づくりに関する学習に自主的に取り組もうとしている。
2月	安全な社会生活 応急手当	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、正しい手順や方法があること、速やかに行うことが必要であることを理解している。	応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化などを防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。
3月	安全な社会生活 心肺蘇生法	応急手当には、正しい手順や方法があること、速やかに行うことが必要であることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。	応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、傷害の悪化などを防止する方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明している。	心肺蘇生法についての学習に自主的に取り組もうとしている。

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年	2	類型	文系
使用教科書									
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
スキルテスト		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子		○	○		○				
振り返りカード		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、健康・安全を確保しようとしている。
5月	球技 ソフトボール バレーボール ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
6月				
7月	水泳	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとしている。
9月				
10月	球技 ソフトボール バレーボール サッカー ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
11月	陸上競技 長距離走	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること	陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとしている。
12月				
1月	球技 ソフトテニス パンポン サッカー	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
2月				
3月				

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	学年	2	類型	理系
使用教科書									
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
スキルテスト		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子		○	○		○				
振り返りカード		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
5月	球技 ソフトボール バレーボール ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
6月				
7月	水泳	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。
9月				
10月	球技 ソフトボール バレーボール サッカー ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
11月	陸上競技 長距離走	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること	陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
12月				
1月	球技 ソフトテニス パンポン サッカー	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
2月				
3月				

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	2	類型	共通
使用教科書	現代高等保健体育								
使用副教材	現代高等保健体育ノート								
科目の目標 (学習指導要領)	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
学習ノートの提出内容			○						
学習に取り組む様子	○		○		○				
振り返りカード	○		○						

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	生涯を通じる健康 ライフステージと健康 思春期と健康	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
5月	生涯を通じる健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康		・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。	
6月	生涯を通じる健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	
7月	生涯を通じる健康 中高年期と健康 働くことと健康		・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
9月	生涯を通じる健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

10月	健康を支える環境づくり 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康	・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
11月	健康を支える環境づくり 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
12月	健康を支える環境づくり 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
1月	健康を支える環境づくり 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用	・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・保健・医療制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
2月	健康を支える環境づくり 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策	・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
3月	健康を支える環境づくり 健康に関する環境づくりと社会参加	・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりに積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年	3	類型	文系一般
使用教科書									
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
スキルテスト		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子		○	○		○				
振り返りカード		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
5月	球技 ソフトボール バレーボール ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
6月				
7月	水泳	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。
9月				
10月	球技 ソフトボール バレーボール サッカー ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
11月	陸上競技 長距離走	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること	陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
12月				
1月	球技 ソフトテニス パンポン サッカー	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとしている。
2月				
3月				

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	学年	3	類型	文特・理系
使用教科書									
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価	学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
スキルテスト		○							
レポートの提出内容		○							
学習に取り組む様子		○	○		○				
振り返りカード		○	○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。
5月	球技 ソフトボール バレーボール ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
6月				
7月	水泳	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとしている。
9月				
10月	球技 ソフトボール バレーボール サッカー ソフトテニス パンポン	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
11月	陸上競技 長距離走	記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること	陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとしている。
12月				
1月	球技 ソフトテニス パンポン サッカー	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。
2月				
3月				

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）								
使用副教材	書籍の副教材は使用しません								
科目の目標 （学習指導要領）	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
実技	○								
発表・作品制作	○	○							
ワークシート等の提出 内容	○	○		○					
学習に取り組む様子	○	○		○					
振り返りカード	○	○		○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	デッサン (入学した時の 気持ちを手に託 して表現する)	造形の要素(明暗・手の構造・ポーズ・構成の効果)を理解している。 意図に応じて鉛筆の特性を生かして表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 入学当初の思いや願いを基に主題を生成し、表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。	入学当初の自分の気持ちを鉛筆デッサンで表現することに興味を持ち主体的に取り組もうとしている。
5月	感じたことを生 かして (アートカード の模写から)	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 名画から感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。	名画の多様な表現に興味・関心を持ち、主体的に鑑賞に親しみ、よさや美しさを味わい作品に対する理解や見方を広げようとしている。
6月	色彩演習Ⅰ (トーンカラー)	意図に応じて必要な色(補色・類似色)のトーンカラーを選択し、表現に生かしている。 造形の要素(色の持つ効果)を理解している。 意図に応じ必要な色(補色・類似色)のトーンカラーを選択し、表現に生かしている。	色の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 目的や条件、美しさなどを考え、創造的な表現の構想を練っている。	色の持つ働きを生かしたデザイン作品の制作に興味を持ち主体的に取り組もうとしている。
7月	色彩演習Ⅱ (アクリル絵の具)	造形の要素(色の持つ効果)を理解している。 意図に応じ必要な色(補色・類似色)を選択し、アクリル絵の具・烏口の特性を生かして表現している。	色の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を深めている。 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成し色の持つ効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	色の持つ働きを生かしたアクリル絵の具によるデザイン作品の制作に興味を持ち活動に主体的に取り組もうとしている。
9月	ポスター (メッセージ・ フロム・ミー)	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 レタリングやコラージュなど表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 自己を見つめ直し、感じ取ったことや考えたことなどから「自分」をテーマにキャッチコピーを考案し、ポスターの主題を生成している。	「自分」をテーマにしたポスター制作に興味を持ち活動に主体的に取り組もうとしている。
10月				
11月				
12月	彫り進み木版画 (茨城県の民話 から)	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 意図に応じて彫刻刀やノミを使い分けたり、刷りの特性を生かしたりして主題を追求して創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 郷土茨城の民話を読んで感じ取ったことや考えたことなどからイメージをふくらませ、木版画の表現形式の特性を生かし、形体や色彩、創造的な表現の構想を練ろうとしている。	「郷土茨城の民話をテーマにした木版画制作に興味を持ち活動に主体的に取り組もうとしている。
1月				
2月				
3月	オリエンテーション (これからの私 と美術)	造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	自然と美術の関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書		書Ⅰ（光村図書）							
使用副教材		書籍の副教材は使用しない							
科目の目標 （学習指導要領）		書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 （2）書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 （3）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。		主体的に書の幅広い活動に取り組もうとしている。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果のA B Cの数で評価	学習評価結果のA B Cの数で評価		学習評価結果のA B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
実技		○	○		○				
発表			○		○				
ノートの内容		○			○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子					○				
相互評価			○		○				
自発的に質問する姿勢			○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	用具の使い方 (用筆の基本)	正しい墨のすり方、筆の持ち方を理解し、用筆の基本（中鋒）を理解する。	「ぐるぐる」を通して運筆に適切な墨の濃さを体感する。	指導者の説明をきちんと聴ける姿勢を確立し、正しいノートの作り方を理解する。
5月	楷書の臨書	唐の四大家の臨書を通してそれぞれの特徴を理解して正しく再現する。	背勢と向勢、字形の特徴と全体の構成を理解し、正しく再現する。	正しく再現するための筆使いを工夫する。
6月	一字書の創作 うちの制作	外からの刺激によっておこる感興を漢字1字で表現する。	自分のイメージを定着させるために教科書の古典を参考にし、級友の意見を参考にして意図に沿った表現を工夫する。	淡墨による墨色の変化、料紙の違いによる潤滑の違いを理解し、個性的な表現に挑戦する。
7月	行書の臨書	行書の特徴（点画の連続・省略）を理解して適切に再現する。	線質・字形・全体の構成等の変化と統一のバランスを理解して自由に表現する。	古典の特徴の理解を深めるために、積極的に級友の評価を受け入れ、表現の中にそれを活かす。
9月	かなの基本用筆 単体	小中学校で習ったかなを離れて、古典の中に存在する普遍的なかなの美を理解する。	墨の濃淡・潤滑による線質の変化を理解し、作品の中に表現する。	かなの基本用筆を習得するために積極的に取り組む
10月	かなの臨書 高野切・蓬萊切	字母を踏まえた変体仮名の字形を理解する。	変体仮名・連綿・墨継ぎ等の技法を理解し、再現するための用筆を工夫する。	古典の切貼という作業を丁寧に進め、藤原敏行のうた「秋きぬと・・・」の創作原稿を完成する。
11月	漢字かな交じり 書	近代人（高村光太郎）の書簡に親しみ。古典を踏まえた表現を心掛けていたことを理解する。	漢字とかなの調和を考え、効果的な表現にする為の文字の配置や大きさを工夫する。	校歌の創作に意欲的に取り組む
12月	生活の中の書	手紙・封筒・はがきの書き方、履歴書（ペン字）の書き方を正しく理解する。	相手を考えた表現を工夫する。	年賀状など学んだことを実践する努力を継続する。
1月	漢字の書 隅寺心経の臨書	写経体の特異な結体を理解し、併せて小筆の使い方に習熟する。	行を揃える・字粒を揃える（1行17文字）ための目安など小楷を完成させる為の手順を理解し表現する。	相互批評を通して見る力・再現する力を高め、集中を継続する力を養い、般若心経の全臨を完成する。
2月	生活の中の書 表札の制作	木札という特異な書写材に表現するための準備（整面）の必要性を理解する。	墨の濃淡・字配りに工夫して意図に沿った表現を工夫する。	表札作成の手順を理解して、丁寧な整面・臨書を経て効果的な表現を工夫する。
3月	漢字の書 隷書	隷書の特徴（横平垂直）を理解して表現する技法を工夫する。	隷書の用筆（蔵鋒・波磔）を理解して正しく表現する工夫をする。	2年次の篆書・篆刻の導入であることを理解し、積極的に技法を習得する

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）								
使用副教材	書籍の副教材は使用しない								
科目の目標 （学習指導要領）	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えている。		主体的に書の創造的な諸活動に取り組んでいる。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
実技	○	○		○					
発表		○		○					
ノートの内容	○			○					
レポートの提出内容	○	○		○					
学習に取り組む様子				○					
相互評価		○		○					
自発的に質問する姿勢		○		○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	隷書の臨書	隷書の基本的な用筆運筆（蔵鋒・波磔等）の技法を習得している。	隷書の古典を鑑賞し、その書風の特徴をとらえて説明したり、毛筆で表現したりしている。	古典の書風をとらえて説明したり、毛筆で表現するために自ら考え、意見を発表したり、他者の意見を取り入れたりしている。
5月	篆書の臨書	篆書の基本的な用筆運筆（蔵鋒・波磔等）の技法を習得している。	篆書の古典を鑑賞し、その書風の特徴をとらえて説明したり、毛筆で表現したりしている。	古典の書風をとらえて説明したり、毛筆で表現するために自ら考え、意見を発表したり、他者の意見を取り入れたりしている。
6月	篆刻	篆刻に関する伝統や文化を理解している。	篆刻の古典作品を鑑賞し、その特徴を説明することができる。	篆刻の古典作品の特徴をとらえて説明したり、篆刻で表現するために自ら考え、意見を発表したり、他者の意見を取り入れたりしている。
7月	篆刻	篆刻に関する用具用材（印刀や印泥など）の取り扱い方を習得している。	篆刻の古典作品の趣を取り入れて、姓名印の印稿を作成することができる。	印稿を相互批評して更に良い印稿に仕上げている。
9月	篆刻	漢印の摸刻を通して印篆の特徴を理解している。	篆刻の古典作品の趣を取り入れて、姓名印を制作している。	篆刻作品を鑑賞し合い、意見交換し、より良い篆刻の表現を考えることができる。
10月	刻字	刻字に関する伝統や文化を理解している。	刻字の作品を鑑賞し、その特徴を説明することができる。	刻字の作品の特徴をとらえて説明したり、刻字で表現するために自ら考え、意見を発表したり、他者の意見を取り入れたりしている。
11月	刻字	刻字に関する特殊な用具用材（印刀・印床・印泥など）の取り扱いを習得している。	選んだ文字を効果的に表現する字体・構成を考えて原稿を完成することができる。	原稿を相互批評して更に良い印稿に仕上げている。
12月	刻字	刻字に関する特殊な用具用材を適切に扱い、作品を制作することができる。	鑑賞を通して学習した刻字の特徴を踏まえた刻字作品を制作することができる。	刻字作品を鑑賞し合い、意見交換し、より良い刻字の表現を考えることができる。
1月	色砂による創作	原稿作成の参考となる古典の臨書を通して、効果的な表現の原稿を制作することができる。	色砂の作品を鑑賞し、その特徴を説明することができる。	原稿を基にして配色を工夫し、他者の意見を取り入れて作品を完成することができる。
2月	色砂による創作	カーボン紙・切り抜き等の技法を習得している。	選んだ文字を効果的に表現する字体・構成を考えて創作することができる。	批評会において積極的に自分の意見を発表することができる。
3月	漢字かな交じりの書の創作	蓬萊切の臨書を通して連綿・変体仮名などの特徴を再確認する。教科書所載の漢字かな交じり作品のうち好きな作品を選んで臨書し、その特徴を理解する。	多賀高の校歌にふさわしい書体を選択し、漢字とかなを融合した作品を創作する。	相互批評を通して改善策を模索しより良い作品にまとめることができる。

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	高校生の美術2（日本文教出版）								
使用副教材	書籍の副教材は使用しません								
科目の目標 （学習指導要領）	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。								
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。					
学習評価の総括方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
	学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価					
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度					
実技	○								
発表・作品制作	○	○							
ワークシート等の提出 内容	○	○		○					
学習に取り組む様子	○	○		○					
振り返りカード	○	○		○					

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	オリジナルブランド (ロゴ・マークのデザイン)	造形の要素の働きを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現している。	社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
5月				
6月	感じたことを生かして② (点描画による模写から)	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 名画作品を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
7月				
9月				
10月	木彫 (レリーフ表現でペンケースの制作)	造形の要素の働き(レリーフ表現)を理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 ペンケースの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
11月				
12月				
1月	重なりを生かして (スクラッチグラス画)	形の要素の働きを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
2月				
3月	いつまでも使いたいコップ (サンドブラスト)	形の要素の働きを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 目的や条件から主題を生成し機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

教科	芸術	科目	美術探求	単位数	2	学年	3	類型	文 I
使用教科書		美術史のきほん（日本文教出版）							
使用副教材		書籍の副教材は使用しません							
科目の目標 （学習指導要領）		○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。		主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査									
小テスト		○							
実技		○	○		○				
発表・作品制作		○	○		○				
ワークシート等の提出 内容		○	○		○				
レポートの提出内容			○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価			○		○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	日本画 (鳥獣戯画)	日本画の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、技法と道具を使い分けて個性豊かで創造的に表している。	作者がどのような工夫と表現で描いたのか模写を通して造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 作品を深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	鳥獣戯画絵巻と模写について関心を持ち、主体的に創造的な諸活動に取り組もうとしている。
5月				
6月				
7月	ボックスアート (思い出の中の風景)	造形の要素の働き（コラージュ表現）を理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 自然や自己、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
9月				
10月	巨匠の次回作 (オマージュ作品)	構図や形、色、タッチに注目し造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 主題にあった表現方法を創意工夫し、別作品として個性豊かで創造的に再現する。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 名画作品を深く見詰め作品の主題や表現方法の特徴を分析し、感じ取ったことや画家の生涯について調べ、考えたことなどから自分なりの解釈で作家の新作の主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	主体的に絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
11月				
12月				
1月	鑑賞 (美術探求学習のまとめ)	造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。	体的に作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

教科	芸術	科目	書道探究	単位数	2	学年	3	類型	3年文系
使用教科書		萩 信雄『新 中国書道史年表 一図説で学ぶ書の歴史一』							
使用副教材		なし							
科目の目標 (学習指導要領)		書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。							
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		・書道史について、中国史や日本史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ・諸資料から書道史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べて整理し、発表する技能を身に付けている。 ・書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付けている。 ・書の伝統的な表現を踏まえ、意図や目的に基づいて、効果的かつ創造的に表現するための技能を身に付けている。	・書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連などに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表している。 ・書の美しさやよさを感じ、意図に基づいて効果的かつ創造的に表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。		・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組んでいる。				
学習評価の総括方法		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
		学習評価結果の A B Cの数で評価	学習評価結果の A B Cの数で評価		学習評価結果の A B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○		知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査									
小テスト		○							
実技		○	○		○				
発表・作品制作		○	○		○				
ワークシート等の提出 内容		○	○		○				
レポートの提出内容		○	○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価			○		○				
振り返りカード			○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	殷時代の書 周時代の書 秦時代の書	・殷時代、周時代、秦時代の書道史について、中国史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から殷時代、周時代、秦時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・殷時代、周時代、秦時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・殷時代、周時代、秦時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・殷時代、周時代、秦時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
5月	後漢時代の書 三国時代の書 晋時代の書	・後漢時代、三国時代、晋時代の書道史について、中国史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から後漢時代、三国時代、晋時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・後漢時代、三国時代、晋時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・後漢時代、三国時代、晋時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・後漢時代、三国時代、晋時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
6月	南北朝時代の書 唐時代の書	・南北朝時代、唐時代の書道史について、中国史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から南北朝時代、唐時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・南北朝時代、唐時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・南北朝時代、唐時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・南北朝時代、唐時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
7月	唐時代の書 北宋時代の書	・唐時代、北宋時代の書道史について、中国史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から唐時代、北宋時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・唐時代、北宋時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・唐時代、北宋時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・唐時代、北宋時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
9月	明時代の書 清時代の書	・明時代、清時代の書道史について、中国史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から明時代、清時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・明時代、清時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・明時代、清時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察する資質・能力を身に付ける。 ・明時代、清時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
10月	奈良時代の書 平安時代の書	・奈良時代、平安時代の書道史について、日本史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から奈良時代、唐時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・奈良時代、平安時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・奈良時代、平安時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・奈良時代、平安時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
11月	平安時代の書 江戸時代の書	・平安時代、江戸時代の書道史について、日本史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。 ・随資料から平安時代、江戸時代の書に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、発表する技能を身に付ける。 ・平安時代、江戸時代の書の古典の臨書を通して、書の伝統的な表現を身に付ける。	・平安時代、江戸時代の書道史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察して整理し、発表する資質・能力を身に付ける。 ・平安時代、江戸時代の書の美しさやよさを感じ、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい深く捉える資質・能力を身に付ける。	・書道史の展開に関わる諸事象に関する探究や書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
12月	作品制作	・書の伝統的な表現を踏まえ、意図や目的に基づいて、効果的かつ創造的に表現するための技能を身に付ける。	・書の美しさやよさを感じ、意図に基づいて効果的かつ創造的に表現を工夫する資質・能力を身に付ける。	・書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。
1月	作品制作	・書の伝統的な表現を踏まえ、意図や目的に基づいて、効果的かつ創造的に表現するための技能を身に付ける。	・書の美しさやよさを感じ、意図に基づいて効果的かつ創造的に表現を工夫する資質・能力を身に付ける。	・書の創造的な諸活動に主体的に取り組む態度を養う。

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1	類型	共通
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）								
使用副教材	家庭基礎 気づく力 築く未来学習ノート、生活額Navi資料＋成分表								
科目の目標 （学習指導要領）	○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ○家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	○人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をしているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		○家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。		○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○		○						
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○		○		○				
発表・作品制作	○		○		○				
課題等の提出内容	○		○		○				
レポートの提出内容			○		○				
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価	○		○		○				
振り返りカード			○		○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章これからの人生について考えてみ	人の一生について、様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。
5月	第2章自分らしい生き方と家族 第3章子どもとかかわる	生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、家族・家庭の機能と、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、社会との関わりについて理解を深めている。	家庭や地域のよりよい生活を創造するために、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
6月	第3章子どもとかかわる 第7章衣生活をつくる	乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
7月	第7章衣生活をつくる ホームプロジェクト	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
8月	ホームプロジェクト	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	自己の家庭生活や地域の生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践を評価・改善・考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
9月	ホームプロジェクト 第7章衣生活 第4章高齢者とかかわる	高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
10月	第5章社会とかかわる 第6章食生活をつくる	生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
11月	第6章食生活をつくる	・ライフステージに応じた栄養の特徴や特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
12月	第6章食生活をつくる	・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。		
1月	第8章住生活をつくる	ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
2月	第9章消費行動を考える	消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できる。 生活と環境との関わりや持続可能な消費・持続可能な社会へ参画する意義について理解している。	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について課題を解決する力を身に付けている。 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、生活の充実向上を図り、実践しようとしている。 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
3月	第10章経済的に自立する生活設計	家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。	生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。

教科	家庭	科目	家庭探究	単位数	2	学年	3	類型	文系
使用教科書	2022生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)								
使用副教材									
科目の目標 (学習指導要領)	○衣生活・食生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解に基づいて、さらに深く探究し、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ○ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ○ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	○衣生活・食生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解に基づいて、さらに深く探究し、それらに係る技能を身に付けている。		○ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。		○ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習評価結果のA B Cの数で評価		学習評価結果のA B Cの数で評価		学習評価結果のA B Cの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に ○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査									
小テスト	○								
実技	○		○		○				
ワークシート等の提出 内容			○		○				
発表・作品制作	○		○		○				
学習に取り組む様子					○				
レポートの提出内容	○		○		○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りシート			○		○				

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。

月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	衣生活分野探究 ①衣服の起源・歴史・日本の衣服文化・世界の衣服文化	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、被服の構成・被服材料の種類や特徴・被服製作などについて探究し、関連する技術を身に着けるようにする。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。生活の中での被服製作やデザインに関する課題について探究し、生活の中で合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して探究し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、課題に主体的かつ共同的に取り組むもうとしている。
5月	②衣服の機能・性能 ③衣服の入手から再資源化 衣服の手入れ			
6月	④洋服と和服の構造 衣服製作			
7月	④洋服と和服の構造 衣服製作③衣服の入手から再資源化衣服の手入れ			
8月				
9月	食生活分野探究 ①日本の食文化について	・日本と世界の食文化について歴史や調理の特性などについて探究し、栄養の特徴や食品の栄養的特質、調理方法などについて理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な知識・技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。	食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について探究し、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康・環境について探究し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
10月	②伝統的な食生活について			
11月	③食生活をグローバルに考える			
12月	④これからの食生活について考える			
1月				
2月				
3月				

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2	学年	2	類型	共通
使用教科書	高校情報 I Pyshon								
使用副教材	高校情報 I Pyshon 学習ノート								
科目の目標 (学習指導要領)	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。		情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。		情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。				
学習評価の総括方法	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
	学習の達成状況を100点法で評価		学習評価結果のABCを数値に置き換えて評価		学習評価結果のABCの数で評価				
評価場面 各観点で用いる項目に○	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度				
定期考査	○								
小テスト	○								
実技テスト パフォーマンステスト	○								
発表・作品制作			○						
課題等の提出内容			○						
レポートの提出内容			○						
学習に取り組む様子					○				
自己評価・相互評価					○				
振り返りカード					○				
その他 ※文書で記入可									

【年間計画】 ※これは予定です。学習状況によって変更になることがあります。				
月	単元・題材名 (配当時間)	単元・題材で育成する資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4月	第1章 情報社会 1 情報と情報社会 2 問題解決の考え方 3 法規による安全対策 4 個人情報とその扱い 5 知的財産権の概要と産業財産権	問題解決の考え方について理解し、個人情報保護法や不正アクセス禁止法などの法規による安全対策についても理解している。	問題解決のためにPDCAを具体例を挙げて説明したり、個人情報の漏洩の例について説明したりすることができる。	情報の定義について興味・関心を示している。また、法規による安全対策の重要性に興味・関心をもって取り組んだり、特許の事例について興味・関心を持って特許情報を検索する活動に積極的に取り組んだりしている。
5月	第1章 情報社会 6 著作権 7 コミュニケーションとメディア 8 情報デザインと表現の工夫	著作権と伝達者の権利についての法規やルールについて理解している。また、著作物の利用や著作権法の権利制限規定、さらには著作物の利用について理解している。伝達メディアや成果メディア、情報デザインの意味について理解している。	著作権法の権利制限規定の意義について考え、討議することができる。コミュニケーションにおける同期・非同期、直接・間接を適切に分類できたり、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。	著作権侵害をしないような活動を計画することができたり、著作物の利用に関して著作権を侵害しないように取り組んでいたりとしている。電子メール作成における作法を積極的に身に付けようとしていたり、情報をわかりやすく伝達するために自ら改善しようとしていたりしている。
6月	第2章 情報デザイン 9 Webページと情報デザイン	Webページの特徴や作成方法について理解できる。また、HTMLタグやCSSセレクタの働きを理解できる。	Webサイトの情報構造を考え、適切に設計することができる。また、意図したデザインにするためのHTMLタグやCSSセレクタを適切に選択できる。	Webページの制作に意欲的に取り組んでいる。閲覧数を増やすための方法を提案することができる。
7月	第3章 デジタル 10 デジタル情報の特徴 11 数値と文字の表現 12 演算の仕組み	アナログとデジタルのそれぞれの特徴や違いを理解している。また、2進数や10進数、16進数をそれぞれ相互に変換する方法を理解し、特に2進数の簡単な加算と減算について理解している。	アナログデータとデジタルデータを比較し、その違いについて説明することができる。さらに2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。組み合わせ回路の真理値表を適切に表現できる。	デジタルの理解を深めようと、2進数や16進数の演算に意欲的に取り組んでいる。
8月				
9月	第3章 デジタル 13 音の表現 14 画像の表現 15 コンピュータの構成と動作 16 コンピュータの性能	音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。また、加法混色や減法混色、解像度、階調について理解している。そして、ハードウェアとソフトウェアの関係を理解し、クロック周波数から1秒間に処理できる命令の数を計算することができる。	標本化周期や標本化周波数を音質とデータ量に関連付けて説明することができる。また、画像のデジタル化（標本化、量子化、符号化）について説明することができる。CPUの動作と演算の仕組みについて理解し、CPUの処理能力の尺度であるクロック周波数について説明することができる。	音のデジタル化の学習や加法混色の実験、ハードウェアとソフトウェアの学習について興味・関心をもって取り組んでいる。さらに、計算結果に誤差が生じることを確認する実習について興味を持っている。
10月	17 ネットワークとプロトコル 18 インターネットの仕組み 19 Webページの閲覧とメールの送受信 20 情報システム 21 情報システムを支えるデータベース	LANとWAN、集中処理と分散処理の違いを理解し、説明することができる。また、クライアントとサーバの関係、ドメイン名の管理の仕組みを理解している。データベースやDBMSについて理解している。	IPv4やIPv6の表記について理解し、2進や10進、16進で表現できる。Webページの仕組みについて、データの流れを追いながら説明できたり、身の回りの情報システムについて簡単にその機能を説明することができるりする。	身近なコンピュータシステムについて興味・関心を持ち、pingコマンドを使った実習に意欲的に取り組んでいる。電子メールの仕組みの学習や、身の回りの情報システムについて興味・関心を示している。また、オープンデータをダウンロードして分析する実習に意欲的に取り組んでいる。
11月	第4章 ネットワーク 22 データベースの仕組み 23 個人による情報安全 24 安全のための情報技術 第5賞 問題解決 25 データの収集と整理 26 ソフトウェアを利用したデータの処理	テーブル、レコード、フィールド、リレーションシップについて理解したり、不正アクセス行為についてどのようなものがあるかを理解したりしている。さらに、偶数パリティと奇数パリティの違いを理解している。オープンデータには、CSVなど様々な形式があることについて理解している。また、収集したデータを結合して、新たな表を作成することができる。表計算ソフトウェアの関数を理解し、関数を使って目的の量を計算することができる。	SQLを使ったデータの抽出方法を説明できる。また、パスワードの重要性やコンピュータウイルスについて正確にまとめられ、電子すかしの技術を説明することができる。画像認識の実例について説明することができる。また、必要な情報を得るための適切なグラフを選択することができる。	リレーショナルデータベースの学習に意欲的に取り組んでいる。パスワードの重要性について関心を持っている。表計算ソフトやテキストマイニング、画像認識に興味・関心をもっており、意欲的に取り組んでいる。
12月	第5賞 問題解決 27 統計量とデータの尺度 28 時系列分析と回帰分析 29 モデル化とシミュレーション	表計算ソフトウェアの関数を使って統計量を計算したり、ヒストグラムや箱ひげ図によるデータの分析方法について理解したりしている。また、表計算ソフトウェアを使って移動平均を計算し、グラフ表示ができ、モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。	おもな基本統計量についてや、移動平均についてその方法について説明することができる。また、回帰分析や相関係数について説明することができ、モデルの分類に関して身のまわりの具体的な事例で説明することができる。	表計算ソフトや最小二乗法の学習に興味・関心を示しており、意欲的に取り組んでいる。
1月	6章 プログラミング 30 アルゴリズムとプログラミング 31 プログラミングの基本 32 配列	アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解し、プログラム作成の手順について理解することができる。簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる。また、プログラムにおける変数の役割について理解している。さらに、配列の役割や要素、添字について理解し、その添字によって要素を指定する方法を正しく理解している。	アルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現することができる。また、構文エラー、実行時エラー、論理エラーの違いや、様々な演算子の機能について説明することができる。配列の宣言、値の代入の方法を説明することができる。配列を利用した効率のよいプログラムを考え作成することができる。	基本構造のプログラムや配列を利用した効率のよいプログラムの作成を意欲的に取り組んでいる。
2月	6章 プログラミング 33 関数 34 探索のプログラム	関数の概念、関数の種類、関数の定義と呼び出す方法について理解している。また、線形探索のアルゴリズムを理解している。	組み込み関数とユーザ定義関数の違いについて説明できる。また、定義側と呼び出す側で引数や戻り値を使ったデータのやり取りの仕方を説明できる。さらに、配列の添字の使い方を適切に考えて使用することができる。	探索プログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。
3月	6章 プログラミング 34 探索のプログラム 35 整列のプログラム	二分探索のアルゴリズムを理解したり、交換法による整列のアルゴリズムを理解したりしている。比較回数と交換回数を正しく判断して計算することができ、選択法による整列のアルゴリズムを理解している。	下限値、上限値、中央値、探索値の関係を正しくとらえることができる。選択法における交換回数を減らす工夫を説明することができる。	整列プログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。